

Broadmedia & Entertainment
Inter BEE

開催概要

名 称 Inter BEE 2025

会 期 11月19日(水)20日(木) 10:00 ~ 17:30
21日(金) 10:00 ~ 17:00

会 場 幕張メッセ(千葉市美浜区中瀬2-1)

入 場 無料(全来場者登録入場制)

後 援 総務省、経済産業省(建制順)

日本放送協会(NHK)

一般社団法人日本民間放送連盟(JBA)

一般社団法人電波産業会(ARIB)

一般財団法人デジタルコンテンツ協会(DCAJ)

一般社団法人放送サービス高度化推進協会(A-PAB)(順不同)

協 力 一般社団法人IPTVフォーラム

一般社団法人衛星放送協会

特定非営利活動法人映像産業振興機構

一般社団法人 映像情報メディア学会

公益社団法人映像文化製作者連盟

一般社団法人カメラ映像機器工業会

公益社団法人劇場演出空間技術協会

一般財団法人最先端表現技術利用推進協会

3Dコンソーシアム

一般社団法人全国地域映像団体協議会

全国舞台テレビ照明事業協同組合

先進映像協会 日本部会

超臨場感コミュニケーション産官学官フォーラム

一般社団法人デジタルサイネージコンソーシアム

一般社団法人デジタルメディア協会

一般財団法人電波技術協会

一般社団法人特定ラジオマイク運用調整機構

一般社団法人 日本アド・コンテンツ制作協会

協同組合日本映画撮影監督協会

一般社団法人日本映画制作適正化機構

一般社団法人日本映画テレビ技術協会

協同組合日本映画テレビ照明協会

協同組合日本映画・テレビ美術監督協会

一般社団法人日本オーディオ協会

一般社団法人日本音楽スタジオ協会

一般社団法人日本ケーブルテレビ連盟

一般社団法人日本CATV技術協会

公益社団法人日本照明家協会

一般社団法人日本動画協会

NPO法人 日本ビデオコミュニケーション協会

公益社団法人日本舞台音響家協会

日本舞台音響事業協同組合

一般社団法人日本ポストプロダクション協会

特定非営利活動法人日本レコーディングエンジニア協会

一般財団法人プロジェクトマッピング協会

マルチスクリーン型放送研究会 (50音順)

主 催 一般社団法人電子情報技術産業協会(JEITA)

運 営 一般社団法人日本エレクトロニクスショー協会(JESA)



Broadmedia & Entertainment
Inter BEE

REVIEW 2025



www.inter-bee.com

REVIEW 2025

Table of Contents

Graphic Report of Exhibition Categories

Professional Audio	02
Video Production / Broadcast Equipment	04
Entertainment / Lighting	06
Media Solutions	08

Event Report

INTER BEE AWARD	10
INTER BEE FORUM	12
INTER BEE EXPERIENCE	14
INTER BEE DX × IP PAVILION	16
INTER BEE IGNITION × DCEXPO	18
INTER BEE MEDIA Biz	20
INTER BEE CREATIVE	22
INTER BEE CINEMA	24
INTER BEE Visitor Services	26

Conference & Event Program

Opening & Keynote	28
Reception Party	29
INTER BEE FORUM	30
Exhibitor's Seminar	32
JBA Symposium of Broadcast Technology	33
INTER BEE EXPERIENCE	34
INTER BEE DX × IP PAVILION	35
INTER BEE IGNITION × DCEXPO	36
INTER BEE MEDIA Biz	37
INTER BEE CREATIVE	38
INTER BEE CINEMA	39

Exhibition Report

Exhibitor List	40
Exhibit Map	42

Results

Publication and Promotion	48
Visitor Profile	50
Exhibitor Profile	52



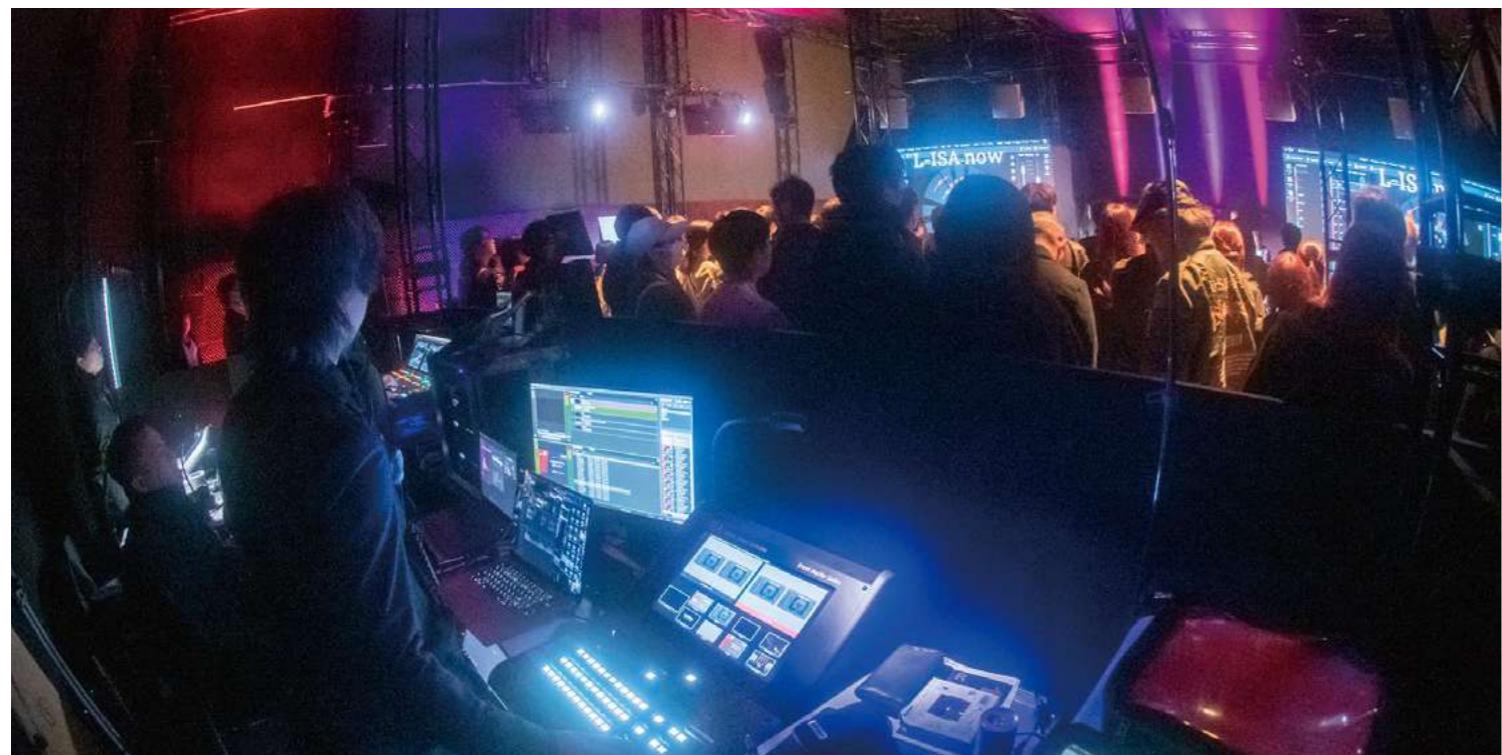
34,072名が幕張メッセに来場!

体験を通じて今と未来を感じた3日間

Media & Entertainmentの総合展示会

技術の進化は止まらない

14ヶ国・地域から 1,079社 / 団体が出展



プロオーディオ部門

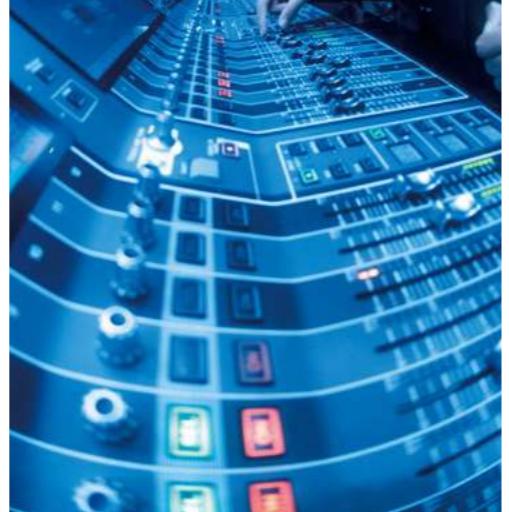
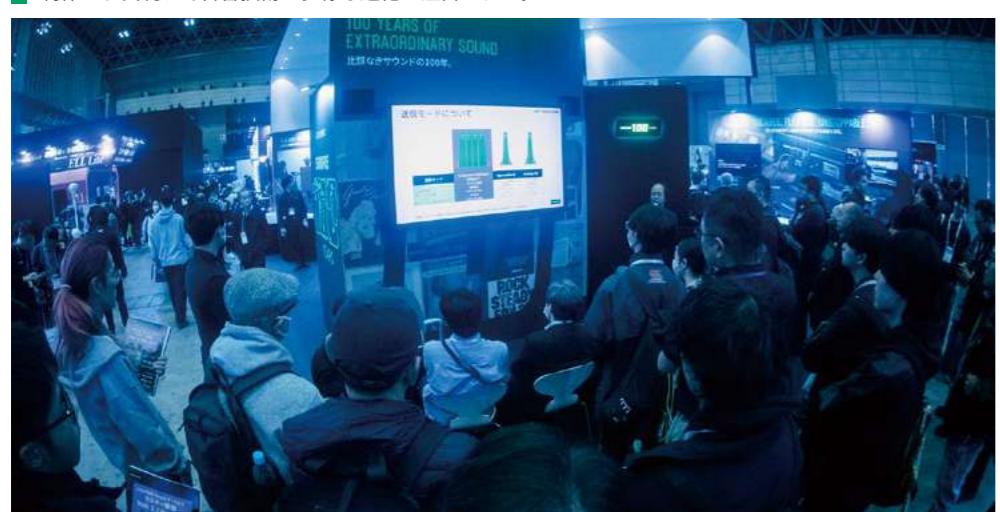
配信サービスが牽引する音楽コンテンツ市場の拡大、動画配信と連動したJ-Popのグローバル進出、活況が続くライブビジネス等、音楽・音響分野の成長は衰えを見せない。

今回のプロオーディオ部門の出展者数は279社、小間数は383小間と昨年よりも更に拡大した。

初の常設システムを備えたホールのオープンが予定されるなど、

イメージブロードキャスティングの本格展開に向け各社が競ったほか、

制作から表現まで音響技術の多様な進化が注目された。



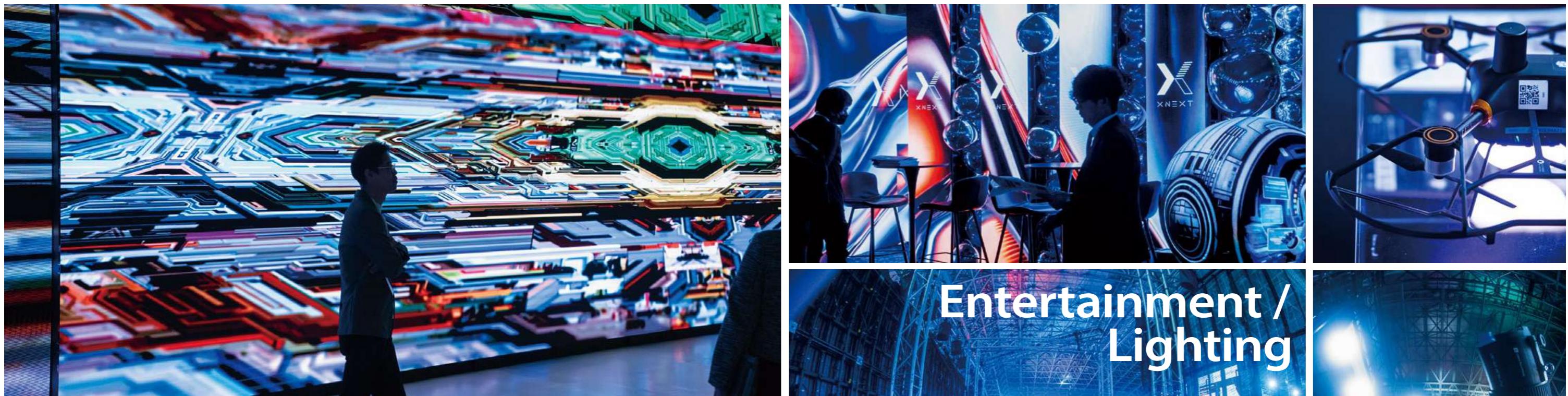


映像制作 / 放送関連機材部門

映像コンテンツ制作の各種最新技術・製品からワークフロー関連、バーチャルプロダクション、伝送関連、制作現場での様々な機器・機材までが幅広く展開する国内最大規模の展示空間として、今回の出展者数は573社、小間数は1,294小間となった。

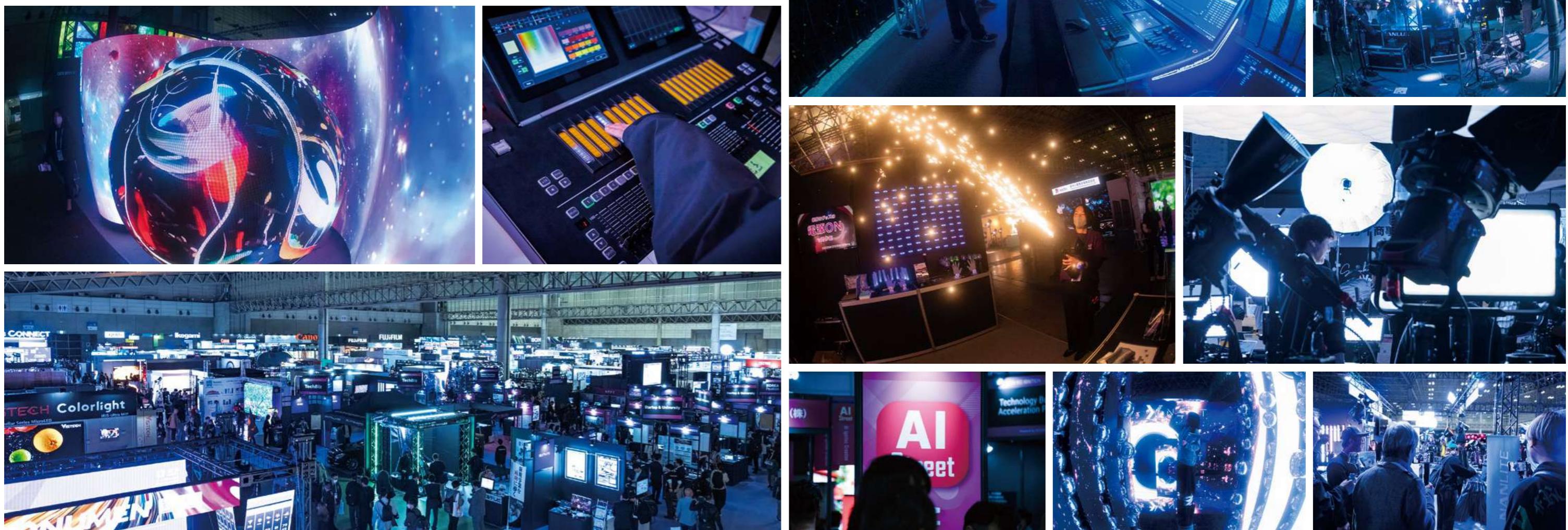
DX化やAI活用といった制作環境での進化と変革が加速度的に進み、映像表現とその活用が多角化するなか、拡大するユーザと市場にアプローチする多種多様な展示に熱心な来場者が数多く訪れた。

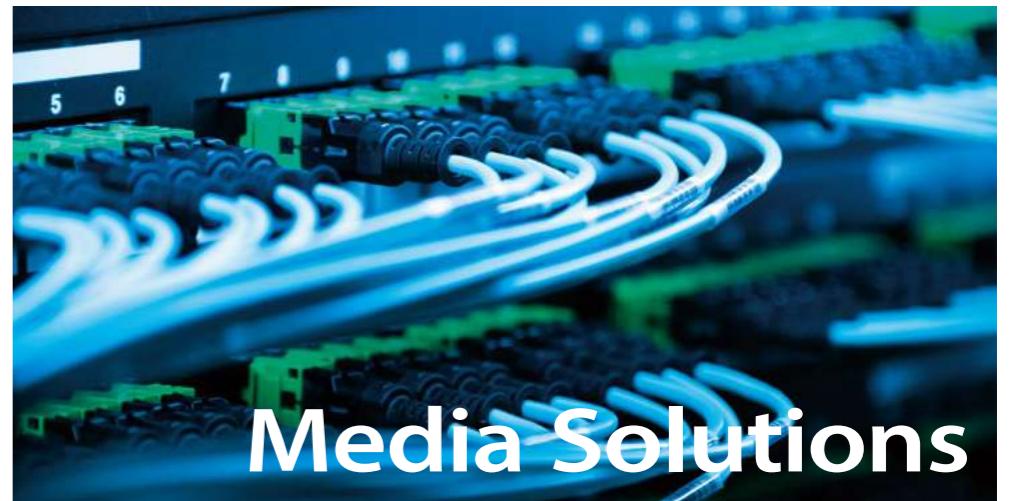
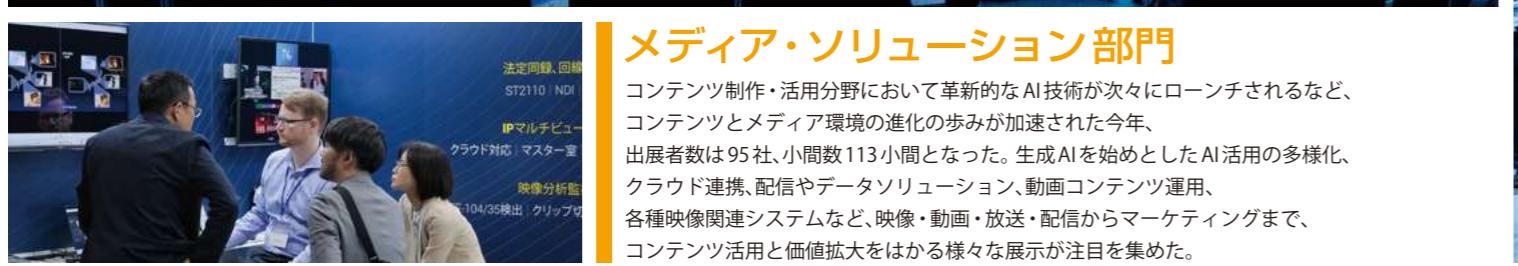




エンターテインメント / ライティング部門

出展者数は132社、小間数は195小間となって、
昨年以上に出展規模が拡大したエンターテインメント / ライティング部門。
海外からの出展も増加し、照明、LEDディスプレイ、レーザープロジェクターから
ドローンなどの空間演出システム、またINTER BEE IGNITION×DCEXPO内の出展者による
AI活用等の先端的かつユニークな表現技術まで、次世代のエンターテインメントと
その可能性を示す場として多くの来場者の注目が集まつた。

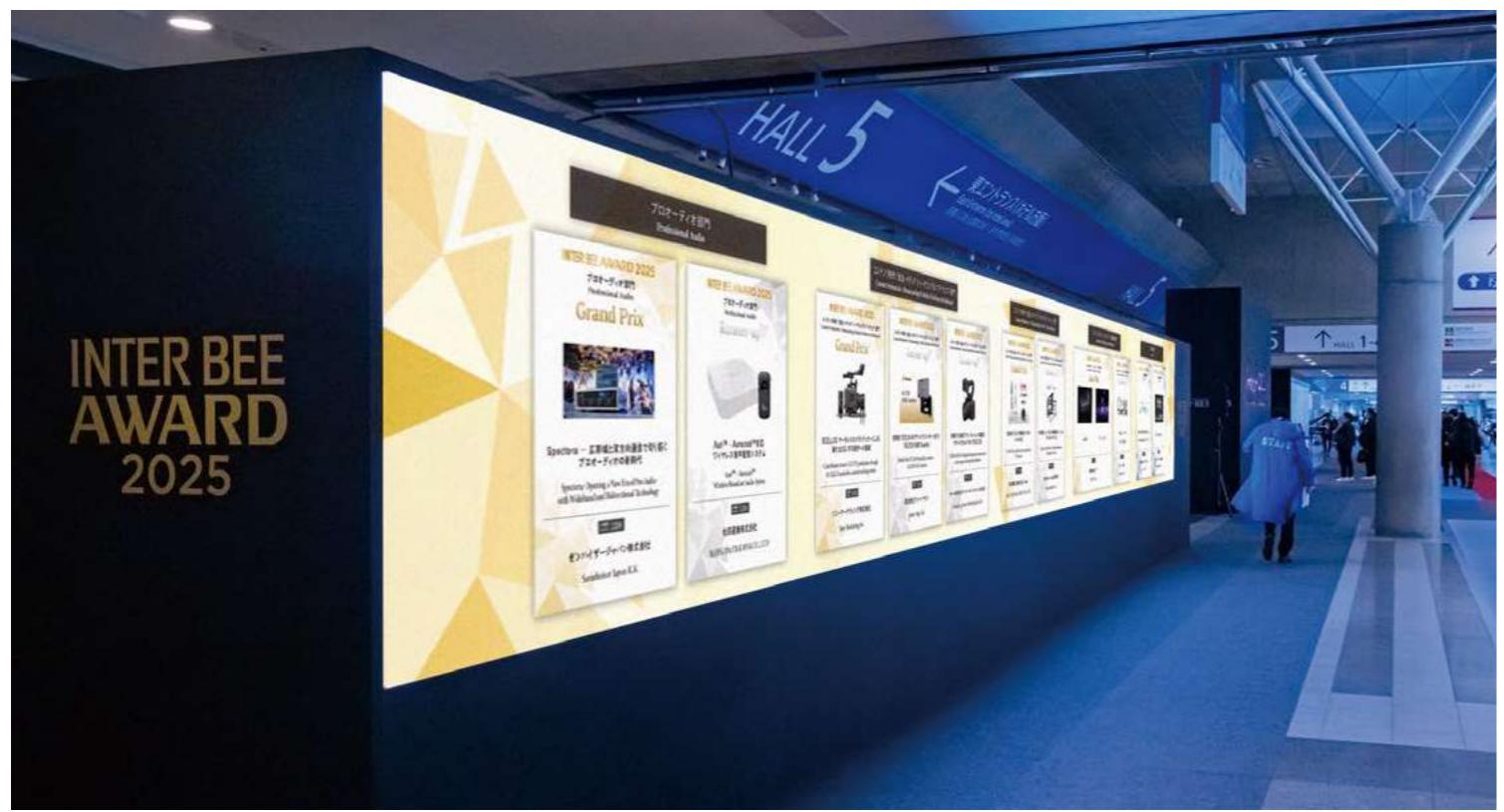




メディア・ソリューション部門

コンテンツ制作・活用分野において革新的なAI技術が次々にローンチされるなど、コンテンツとメディア環境の進化の歩みが加速された今年、出展者数は95社、小間数113小間となった。生成AIを始めとしたAI活用の多様化、クラウド連携、配信やデータソリューション、動画コンテンツ運用、各種映像関連システムなど、映像・動画・放送・配信からマーケティングまで、コンテンツ活用と価値拡大をはかる様々な展示が注目を集めた。





INTER BEE AWARD 2025

バラエティに富んだ受賞が表現する産業界最前線
業界各分野から注目を集め、今後への期待が高まる

昨年より開始され今回第2回目となるINTER BEE AWARD。出展される製品・技術・サービス・ソフトウェア及びコンテンツ等から数多くの応募をいただき、審査委員会による事前の書類審査、第一次審査会を経て、開催初日の会場審査において各賞が決定された。

多岐にわたるメディア&エンターテインメント産業分野の活性化への寄与を目的に実施される本アワードだが、同時に来場者の展示見学の目安となり、またInter BEEが発信する現在から将来に向けた産業界の最前線を表現するものとして注目を集め、今後の更なる充実に期待が寄せられた。



プロオーディオ部門

◆グランプリ

案件名：Spectra—広帯域と双方向通信で切り拓く
プロオーディオの新時代
会社名：ゼンハイザージャパン株式会社



◆準グランプリ

案件名：Auri™-Auracast™ 対応ワイヤレス音声配信システム
会社名：松田通商株式会社



コンテンツ制作/放送・メディア部門(トータルソリューション)

◆グランプリ

案件名：世界初のPTZカメラ用電動ペデスタル「LX-ePed2」
会社名：平和精機工業株式会社 / Libec



Libec
Craftsmanship from Japan
LX-ePed 2
x
MPC-1

◆準グランプリ

案件名：AIを活用したハイブリッドな映像配信ソリューション
(クラウド&オンプレミス)
会社名：Harmonic Japan 合同会社



コンテンツ制作/放送・メディア部門(ハードウェア&ソフトウェア)

◆グランプリ

案件名：OCELLUS マーカレスカメラトラッカーによる
新たなCG/VFX制作への貢献
会社名：ソニーマーケティング株式会社



◆準グランプリ

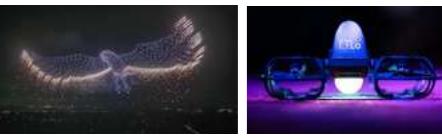
案件名：多様化する映像プラットフォームへの展開をサポートする
シネマカメラ EOS C50
会社名：キヤノン株式会社 /
キヤノンマーケティングジャパン株式会社



エンターテインメント/ライティング/映像表現部門

◆グランプリ

案件名：EMO-JP / FYLo EDU-JP
会社名：株式会社レッドクリフ



◆準グランプリ

案件名：クロウディシリーズ
会社名：株式会社五常



審査委員会賞

案件名：AI生字幕制作システム『J-TAC Pro』
会社名：株式会社テレビ朝日クリエイト



AI 生字幕制作システム
J-TAC Pro

◆準グランプリ

案件名：世界初！ST2110-40でアンシラリインサートを行う
「AS2110 VANC Inserter」
会社名：株式会社アンバーサイン



案件名：DaVinci Resolve 20
会社名：ブラックマジックデザイン株式会社





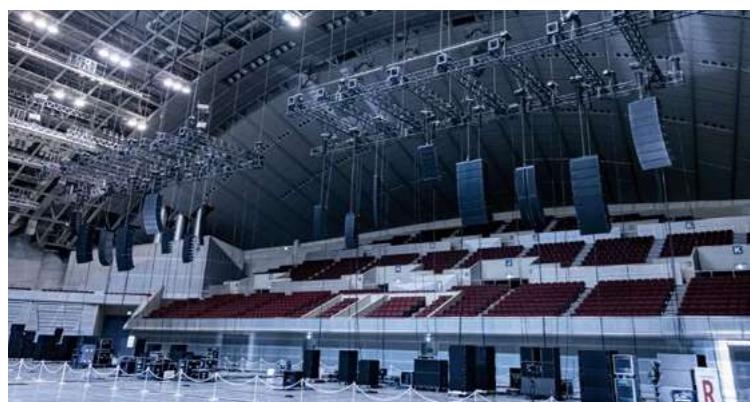
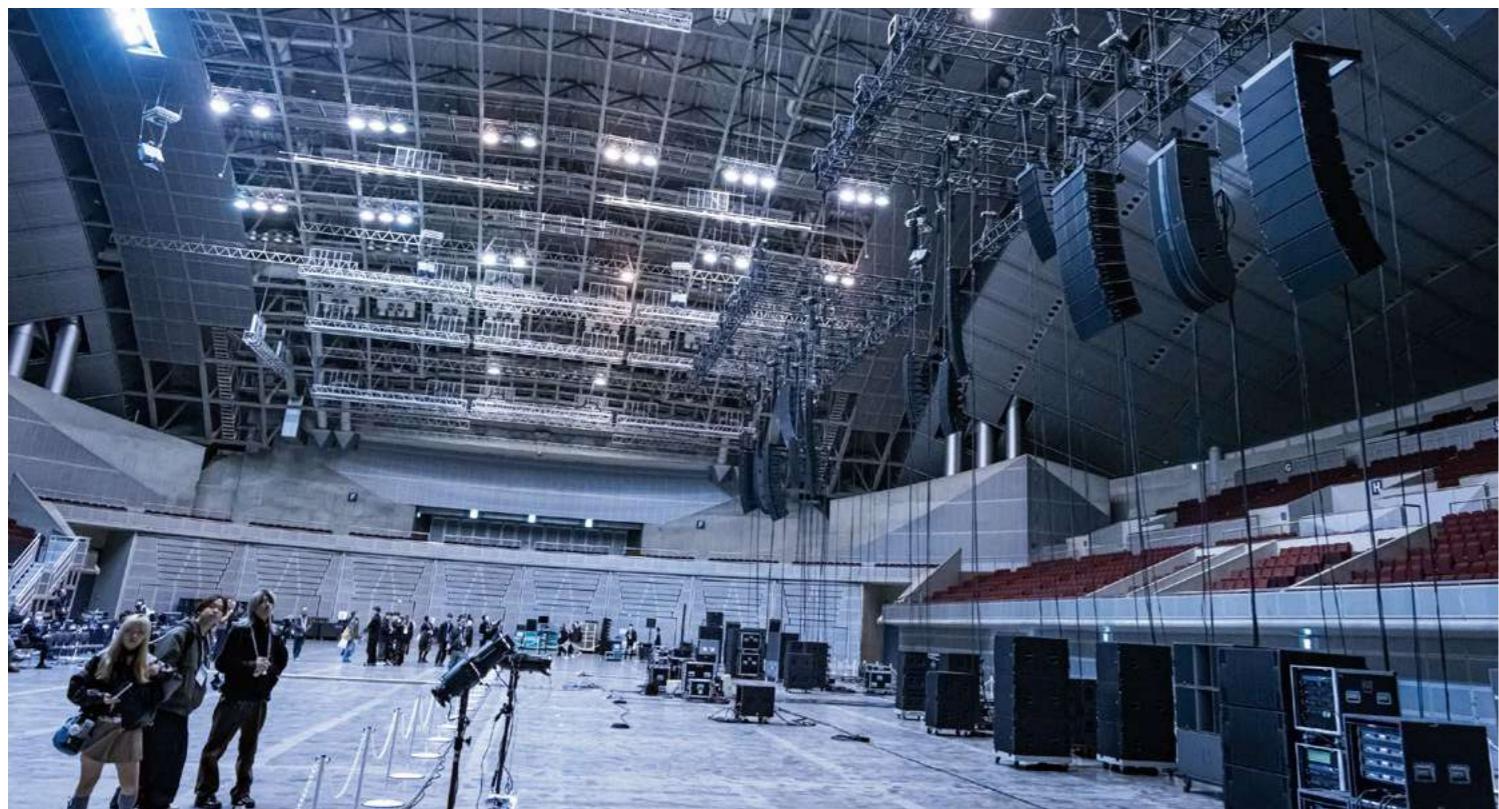
本年のINTER BEE FORUMは、Opening & Keynoteにおいて主催者挨拶に続き、総務省情報流通行政局長 豊嶋基暢氏による「放送行政の最新動向」と経済産業省商務情報政策局 商務・サービスグループ文化創造産業課長 梶直弘氏による「デジタル技術と日本のコンテンツ産業」、日本放送協会メディア総局 副総局長 山崎英一氏による「情報空間の参考点を目指して— NHK ONEと公共放送の新たな役割」の3つのオープニング基調講演からスタートした。

各部門と特別企画からは、開催初日にINTER BEE IGNITION×DCEXPO基調講演「ドジャースはなぜ投資するのか？」球団もテレビ局も「投資家」になる時代」と「テレビドラマに革命を起こすAI映像」の2セッションが行われた。2日目にはIPTV Forum企画「放送とネット配信の両輪で創るテレビサービスの未来～アドレッサブルTVからフェイク対策まで～」、音響部門基調講演「イマーシブ・サウンドの現状と今後の動向 Part II」、「パッケージ・放送／配信・教育現場」、INTER BEE MEDIA Biz基調講演「メディアの『信頼』を考える」、INTER BEE CREATIVE「京都映画進化論～100年を振り返り、次の100年を考える」の4セッション。最終日ではJEITA Global AI Cloud Pavilion基調講演「クラウドが駆動するメディアDX：放送局の基盤構築から、生成AIが拓く未来まで」、INTER BEE DX×IP PAVILION基調講演「『最初の一歩』の最適解 - グランドデザイン構想と現場の実践から学ぶ、放送局IP化のリアル」、INTER BEE CINEMA基調講演「映画『待タイムスリッパー』制作の舞台裏」が行われた。

多角的な視点からエキスパートが最新動向を発信する9つの特別講演と出展者セミナー、いずれもAIの本格活用をはじめとして新たな時代への転換点に立つメディア、情報、コンテンツの可能性を探る発信が行われ、3日間に渡り多くの聴講者が熱心に耳を傾けた。

Date:	Nov. 19-21
Place:	International Conference Hall
Area:	1,277 sqm (4 Rooms)
The Number of Sessions:	29 sessions
The Number of Speakers:	107 speakers
The Number of Audiences:	4,984 audiences (Total)





今年も活況が続き、国内外ともに更に元気さの増すライブエンターテインメント市場。国内においても大規模ライブ会場の新設から中小規模会場の充実まで、体験共有エンターテインメントへのニーズの高まりに応える様々な動きが目立っている。

そういった市場環境やオーディエンス動向を背景に、今回のINTER BEE EXPERIENCE X-Speakerで注目を集めたのは、ポイントソース/スタンド・ラインアレイスピーカーのカテゴリーに5つの製品が揃ったことだ。本カテゴリーは、ポイントソーススピーカー及びグランド設置での小型ラインアレイスピーカーをプレゼンテーションするものだが、このカテゴリーにおいても音のテクノロジー進化には目覚ましいものがあり、中小規模のライブイベントや会場施設にアプローチする最新システムとして多くの関心が集まった。また初参加となるブランドも登場し、13ブランドの製品システムが競演したイベントホールには、業界関係者をはじめとする多くの来場者が訪れ、迫力ある試聴を体感すると同時に各ブランドの製品システムそれぞれの進化に熱い視線が注がれた。

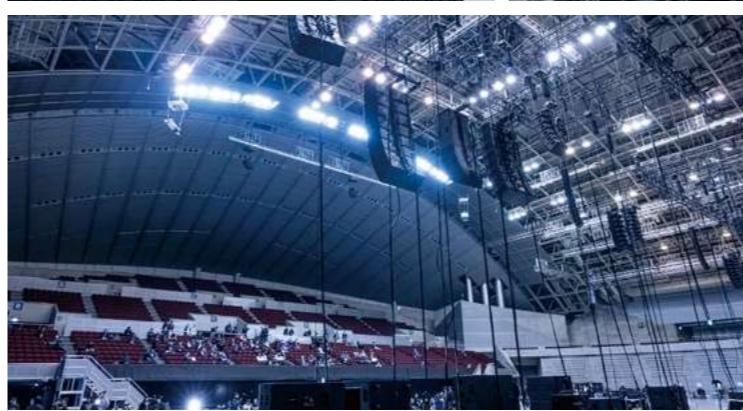
展示ホール2で行われたX-Headphone/X-Microphoneでは、ヘッドフォン製品6ブランド、マイクロフォン製品2ブランドによる6ブースが展開された。毎年多くの来場者が集まる本特別企画だが、昨年よりも更に来場数が1割以上増加し、試聴体験型展示へのニーズが益々高くなっていることが伺われた。来場者の属性も年々多様化し、プロオーディオや映像コンテンツ制作の業界関係者から次世代を担う学生まで、幅広い層の人々が自由に体験する特別企画として賑わいを見せた。

X-Speaker

Date:	Nov. 19-21
Place:	Event Hall
Area:	3,098 sqm (Arena)
The Number of Products Brands:	11 brands, 13 Products
The Number of Presentations:	25 presentations
The Number of Audiences:	4,867 audiences (Total)

X-Headphone/X-Microphone

Date	Nov. 19-21
Place	Exhibition Hall 2
Area	139.5 sqm
The Number of Products Brands:	6 brands
Headphones	
Microphones	2 brands
The Number of Visitors	3,766 audiences (Total)





INTER BEE DX × IP PAVILION

放送局のソフトウェア化を実証的に示す 未来に繋ぐ次世代のコンテンツ制作効率化への提案

放送局のIP化推進を具体的に提案する特別企画として常に注目されて来たINTER BEE DX×IP PAVILIONだが、今回はIPを基盤としてAI活用を含む「ソフトウェア化」を取り入れ、「リモートプロダクション」「クラウド化」「自動化」「セキュリティ」への対応をテーマとした、これからの放送局と次世代のコンテンツ制作をより具体的に示す場となった。

多くの関連企業が参画・出展し、出展者の連携による実証的な展示展開がベースとなっているが、今回は5つの企画コンセプトによって構成された。分散型オペレーションを実証する「多様なロケーションから柔軟なリモートプロダクション、リソースシェアリング」、自社に設備を設置することなく運用する「ハイブリッドクラウド環境におけるマスターおよびプロダクションの冗長性と柔軟な運用性」、次世代の基盤技術を実証する「多様なIPプロトコルによる柔軟なデータ連携」、最適かつ多様なリモートプロダクションとオペレーション手法を実証する「最先端ネットワークインフラの活用」、システム全体を網羅的に監視する「システム全体を『点ではなく面』で捉える統合監視手法の提案」である。

今回は37社が出展。アドバイザーと企画・協力に19社・団体が参加した。開催の1ヶ月前より4回に渡る準備勉強会として、「『放送の未来をつくる』IP化とリモートプロダクションの最前線」をテーマに具体的な事例を公開。会場ではリレー技術セミナーも行われ、日々進化するIP技術とコンテンツ制作のDX化にあって、出展企業がコンセプトを共有し構成するという最大の特長を活かした実証提案型のパビリオンに多くの来場者が訪れた。

Date:	Nov. 19-21
Place:	Exhibition Hall 3
Area:	497 sqm
The Number of Participant Companies:	37 companies
The Number of Adviser:	5 companies
The Number of Planning, Support:	14 companies
The Theme of Keynote Speech:	The "First Step" Solution—Learning the Reality of Broadcast IP Transformation from Grand Design Concepts to On-Site Practices
The Number of Sessions:	28 sessions
The Number of Audiences:	826 audiences (Total)
The Number of Exhibitors:	8 exhibitors



INTER BEE IGNITION × DCEXPO

新たなメディア時代を切り拓く試みから発見する、
進化するコンテンツ創造と表現テクノロジーの現在地

大きな転換点を迎えるメディアにとって、その未来はどのようなものなのか。またどのように新たな価値が創られて行くのか。そんな問いにアプローチする取組みとして、今年のINTER BEE IGNITION × DCEXPOでは「共創とAIが切り拓く新しいメディア時代～コンテンツ・AI・ビジネスの次章へ～」をテーマに展開された。

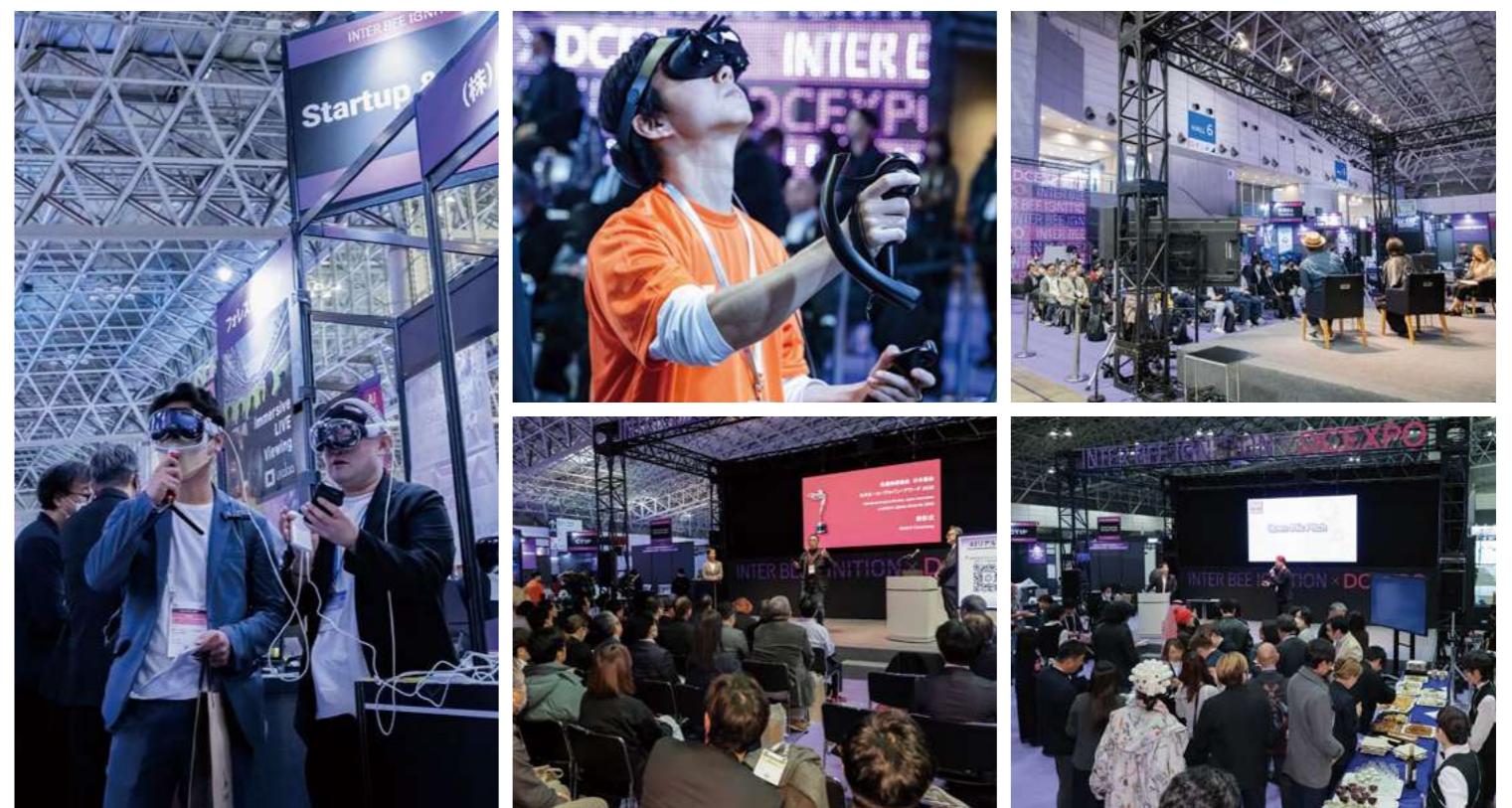
新たなコンテンツを創造する表現とテクノロジーの最前線を紹介する本特別企画が特に力を入れているのは、若手クリエイターやスタートアップ、多分野のビジネスフィールドと放送局との共創であり、また本格的活用が始まったAIをはじめとするコンテンツテクノロジーの可能性を探ることである。先行する11月4日にはオンラインでのプレゼンテーションとして海外連携や国際ビジネスを目指す「TechBiz Pitch Battle -8社が描く未来図、世界へ挑むピッチステージ-」が行われ、開催期間中には放送局がスタートアップからの公開プレゼンテーションを受ける「共創が変える放送の未来：テレビ局×スタートアップピッチ 2025」や、Vライバーがモデレーターを務める「Vライバーが聞く・伝える！最先端コンテンツ技術のいま：出展者プレゼンテーション」が展開された。そのほか、AI映像やAI映画、AI活用のアート・エンタメ、ショート動画ビジネスから放送局の事業創出の取組みやコンテンツによる地方創生まで、多角的な視点からの未来を探るセッションが行われた。

展示エリアでは、生成AIにフィーチャーした展示・デモエリア「AI Street - AI Ignites Creation」と「韓国 KCCA CKL TOKYO パビリオン」が加わった55の企業・団体・大学の出展により、表現テクノロジーの最前線に触れ体験する場として多くの来場者で賑わった。

Date: Nov. 19-21
Place: Exhibition Hall 6
Area: 828 sqm

• Why Are the Dodgers Investing? An Era Where Both Teams and Broadcasters Become 'Investors'
The Theme of Keynote Speech: • AI Imagery Revolutionizing Television Drama

Capacity of Main Stage: 50 seats
The Number of Sessions: 15 sessions
The Number of Speakers: 52 speakers
The Number of Audiences: 1,330 audiences (Total)
The Number of Exhibitors: 55 exhibitors





INTER BEE MEDIA Biz

新たな名称を掲げてメディアを駆け巡るビジネスを打ち出し、多彩な展示とセッションで多様な人々を惹きつける。

2年続いたBORDERLESSからINTER BEE MEDIA Bizに名称を変更。動画マーケティングラウンジも出展スペースに取り込み、これまでよりさらに強くビジネス色を打ち出した。

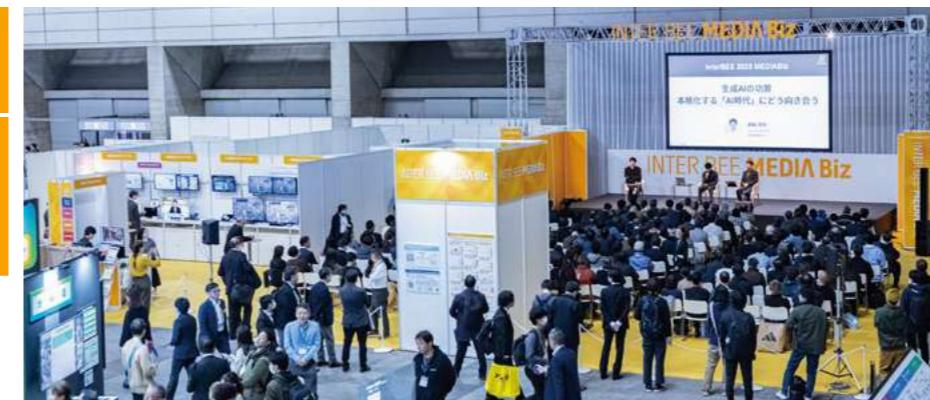
この特別企画の売りであるカンファレンスの題材もより一層幅を広げて、多様な来場者を惹きつけることに成功。ハイブローなテーマから現場感あふれるものまで、バリエーションあふれるセッションを開催した。

国際会議場での基調講演は「メディアの『信頼』を考える」と題し、ディスカッション。昨年から今年にかけてメディアに問われる「信頼」について重厚な議論を開催した。

オープンステージではタイムスケジュールをぎっしり詰め込んだ13のセッションを展開し、延べ聴講者は2,564名と昨年から大幅に増加した。SVOD、YouTube、縦型ショートと複数の動画形式でそれぞれセッションを開催した一方、スポーツ、生成AI、データ、IP、音声など様々な最前線の話題も議論。さらに、あえて制作費を題材にしたりメディア再編の議論にも挑むなど、多様に広がるビジネス課題を考えうる限り網羅した。またAfter Hoursではショート動画制作者の1分プレゼンを募り、参加性の高いコーナーとなった。

INTER BEE MEDIA BizはCONNECTEDからBORDERLESSを経て、メディアを多角的に議論するカンファレンスの場として定着したと実感できた。

Date:	Nov. 19-21
Place:	Exhibition Hall 7
Area:	551 sqm
The Theme of Keynote Speech:	Rethinking Trust in the Media
Capacity of Main Stage:	200 seats
The Number of Sessions:	14 sessions
The Number of Speakers:	52 speakers
The Number of Audiences:	2,775 audiences (Total)
The Number of Exhibitors:	8 exhibitors





INTER BEE CREATIVE

映像制作技術の進化を多角的に発見する3日間、放送、映画、配信を横断して見て来たものとは

放送、映画から配信と映像コンテンツのプラットフォームが拡大するなかで、映像表現・映像制作技術の進化はとどまることはない。かつて日本映画の黄金期を支えた京都の映画撮影所も100年の歴史を経て、これから100年に向けどう進化して行くのか、そんな興味深いテーマで、東映京都撮影所長の小嶋雄嗣氏、松竹京都撮影所会長の大角正氏、京都府助言役の山下晃正氏に加え映画監督の樋口真嗣氏を迎えた「京都映画進化論～100年を振り返り、次の100年を考える」が、INTER BEE CREATIVE基調講演として行われた。

またオープンステージでは、民放からは「UNREALで切り拓く映像イノベーション～TBSが取組む映像制作最前線」、NHKからは「100年後の火星が教えてくれたこと -SF映像表現のための、プロダクション・リデザイン-」と、放送局による映像制作進化の取組みが紹介された。そのほか、半導体の世界企業で映像制作にも大きな影響力のあるNVIDIAのJason Schugardt氏による「When AI Meets VFX : The Future of Visual Storytelling」、同氏も加わった「テクノロジーがどう僕たちのクリエイティブを覚醒するか(VP・AIがもたらすもたらした新たな映像世界)」のセッション、また日本映画の最新VFXを語る「『新幹線大爆破』製作秘話～あのショットはこうやって作られた！」など、様々な角度からの映像制作最前線が発信された。

2日目の20日には今年も《Adobe Day 2025》が1日を通じて行われ、生成AIでの映像制作ワークフローの進化や生成AI導入による映像ビジネス変革をはじめ、実践的な映像制作技術を紹介する各セッションに熱心な聴講者が数多く詰め掛けた。

Date: Nov. 19-21

Place: Exhibition Hall 8

Area: 352 sqm

The Theme of Keynote Speech: The Evolution of Kyoto Cinema: Reflecting on 100 Years and Envisioning the Next Century

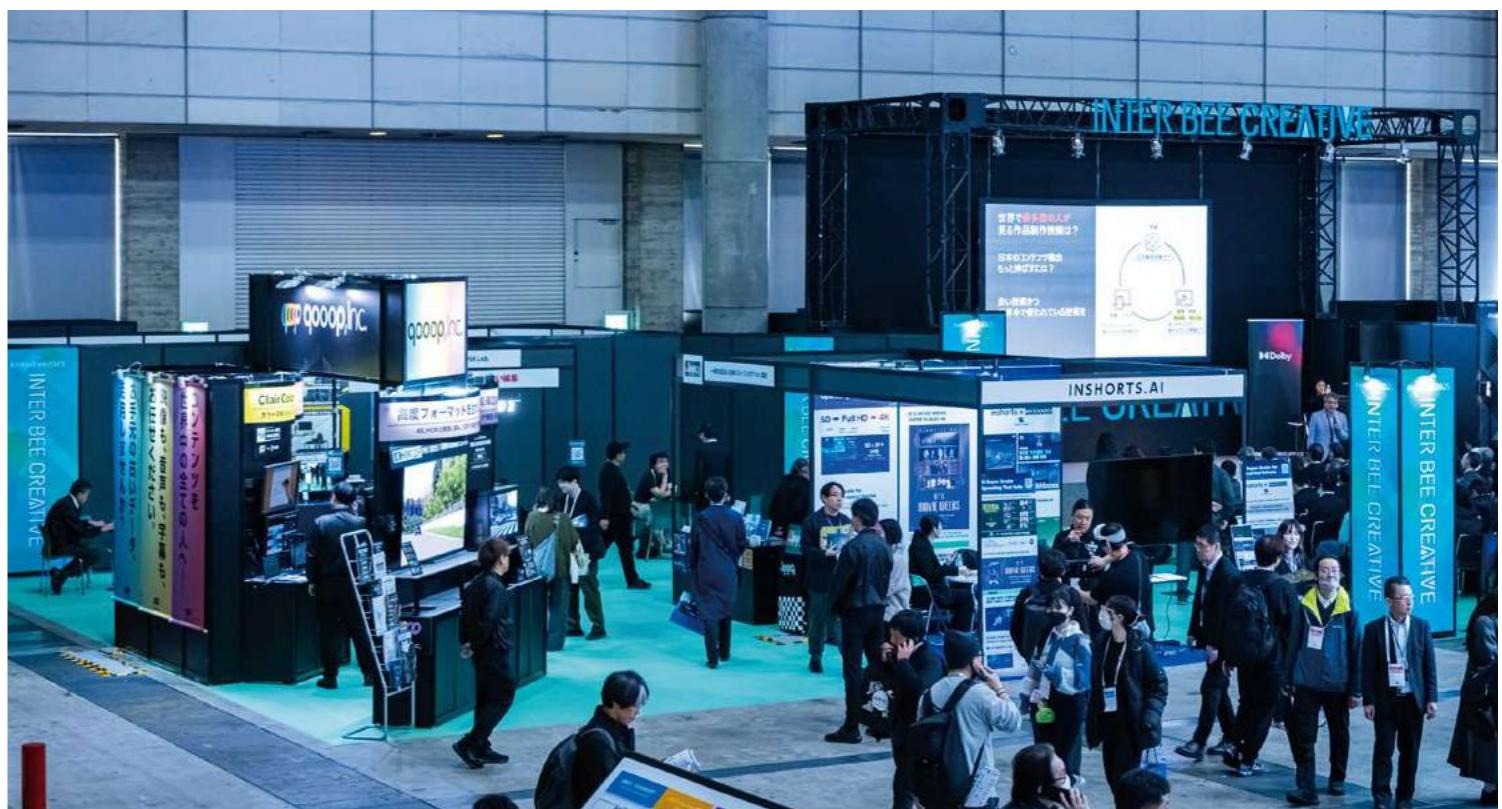
Capacity of Main stage: 102 seats

The Number of Sessions: 19 sessions

The Number of Speakers: 32 speakers

The Number of Audiences: 1,975 audiences (Total)

The Number of Exhibitors: 4 exhibitors





INTER BEE CINEMA

映画制作の現場からのリアルな発信、 製品機材・技術・トレンドを共有するコミュニティ

制作現場で活躍するプロフェッショナルと次世代を担うコンテンツメーカーが集う、映画に特化したコミュニティとして、昨年より開始された特別企画INTER BEE CINEMA。今年も引き続き、日本映画撮影監督協会(JSC)と日本映画・テレビ照明協会(JSL)にご協力をいただき実施された。

本特別企画では、多岐に渡る映画制作技術や制作過程のなかで、特に撮影技術をはじめとした制作現場に関わるリアルな発信に重点が置かれている。トークステージでは、本特別企画のメイン展示といえる「レンズバー(エクスペリエンスエリア)」と連動した「シネマレンズトレンドウォッチ2025」をはじめとして、「ワンストッププロダクションにおける撮影部の仕事と役割」、「『HANA-BI』『バッヂギ』『フラガール』から最新作まで撮影監督山本英夫が語る、日本映画30年の撮影機材の変貌」、「モーションフィルムの現在地」、「カメラ開発者視点から見る『フィルムライク』考察」、「ジオラマ風撮影技法と映像クリエイターによる地域活性化」、「最新シネマカメラ放談」といった、撮影に関わる様々なセッションが展開された。また、世界的に評価が高まる映画「国宝」の音の世界とその技術をテーマとしたセッションや、女性監督の視点からの映像制作現場をテーマとしたセッションなど、制作現場に軸足を置いた興味深い発信も行われた。

展示では先述の8ブランドのレンズ製品が揃ったレンズバー(エクスペリエンスエリア)に加え、プロダクト展示エリアには9社・団体が出展し、映画関係者をはじめとした映像制作に関わる多くの来場者が連日訪れた。

Date:	Nov. 19-21
Place:	Exhibition Hall 8
Area:	401 sqm
The Theme of Keynote Speech:	Behind the Scenes of the Film Samurai Time Slipper
Capacity of Main Stage:	50 seats
The Number of Sessions:	13 sessions
The Number of Speakers:	24 speakers
The Number of Audiences:	866 audiences (Total)
The Number of Exhibitors:	15 exhibitors
The Number of Equipment Cooperation:	12 exhibitors



Inter BEE Visitor Services

来場者の皆様にとってより快適で楽しく有意義な時間を過ごしていただけるよう、さまざまな来場者向けサービスを実施しました。



Inter BEE Streamer Lounge

撮る・配信する・つながる場所

▶会場：幕張メッセ 展示ホール4&展示ホール7 INTER BEE MEDIA Biz エリア内
YouTuberや各種クリエイターの来場者を対象とした専用ラウンジ(Streamer Lounge)を会場内に設置。本ラウンジは、映像配信・動画制作を行う来場者が、取材・撮影・編集・配信を円滑に実施できる拠点として提供することを目的としてご利用いただきました。



ロケ弁 ワラフリ

▶会場：幕張メッセ 展示ホール2・3
▶協力：ロケーションジャパン/ロケなび！
昨年復活を果たしたInter BEEの隠れた人気企画「ロケ弁グランプリ」を今年も開催しました。会期中は多くの来場者が足を止め、各店自慢のロケ弁を購入し、投票に参加いただきました。来場者が実際にロケ弁を購入・試食し、「美味しい」と感じたお弁当に一票を投じる参加型イベントとして、今年も高い注目を集めました。



AR スタンプラー

▶景品交換所：幕張メッセ 展示ホール4
会場各所に設置したポイントを巡りながらAR(拡張現実)でスタンプを集めれるスタンプラーを実施。スタンプを5つ集めると、AR巨大カプセルトイを回す権利を付与し、抽選結果ごとに特製のノベルティをお渡しする企画でした。ARスタンプラーは、来場者に展示会全体をより楽しんでもらうだけでなく、展示会場の回遊促進や、最新技術の体験導線強化を目的として開催しました。



Inter BEE Cafe Stand

▶会場：幕張メッセ 展示ホール3・4・8 ▶協力：Tsunagu Coffee Marche
関東を中心としたロースター（自家焙煎）が一堂に会し、厳選された高品質のスペシャルティコーヒーを、来場者一人ひとりの好みに合わせて丁寧に抽出。ここでしか味わえない特別な一杯を楽しみながら、心落ち着くひとときを過ごしていただきました。コーヒーの香りに包まれた空間は、次のブース訪問や商談に向けてリラックスできる、会場内の“くつろぎの場”として多くの方にご利用いただき、好評のうちに幕を閉じました。



VENUE TOUR

Inter BEE 学生ツアー

学生を対象とした会場ツアーを実施しました。本ツアーは、Inter BEE 2025の限られた見学時間を最大限有意義に過ごしていただくことを目的に企画しました。会場では、映像・放送・メディア業界に精通した専門家・業界人が引率役を務め、展示内容の解説だけでなく、業界の最新動向や技術トレンドについても丁寧に説明を行いました。



Street piano

▶会場：幕張メッセ 2Fコンコース展示ホール4
来場者が自由に演奏できるストリートピアノ企画を実施。本企画は、音楽・映像・表現を軸とするInter BEEの特性を活かし、来場者参加型の体験コンテンツとして会場内にぎわい創出を目的に2Fに設置し、プロ・アマチュアを問わず、音楽を通じた自然な交流が生まれる場となることを目指しました。

Opening & Keynote



Inter BEE 2025の幕開けを飾る初日のオープニング&キーノートスピーチ

開催初日の2025年11月19日(水)午前10時より幕張メッセ国際会議場において、Opening & Keynoteが開催されました。

61回目の開催に際して、一般社団法人電子情報技術産業協会の漆間啓会長による主催者挨拶がビデオメッセージ形式で行われました。

その後のオープニングキーノートスピーチでは、総務省情報流行政局長の豊嶋基暢氏による「放送行政の最新動向」、経済産業省商務情報政策局商務・サービスグループ文化創造産業課長の梶直弘氏による「デジタル技術と日本のコンテンツ産業」、そして日本放送協会メディア総局副総局長山崎英一氏による「情報空間の参照点を目指して—NHK ONEと公共放送の新たな役割」の講演が行われました。講演会場には多くの来場者が集まり、それぞれの講演に熱心に耳を傾けていました。

「コンテンツがつなぐ 新たな創造と体験の未来」

本イベントの開催にあたりましては、ご後援をいただきしております関係省庁や各種団体をはじめ、多くの皆様のご支援・ご協力を賜りました。この場をお借りして、心より御礼申し上げます。1965年に始まった「国際放送機器展」を原点とするInter BEEは、昨年、第60回という節目を迎え、本年は61回目の開催となります。半世紀を超える歴史の上に築かれた信頼と実績を礎に、音と映像、そして放送・通信という技術の発展とともに歩んできたInter BEEは、いま、新たな時代へと進化を遂げています。

近年では、放送の枠を超えて、コンテンツをつくり、届け、体験する、あらゆる技術を包括する「メディア総合イベント」へと発展してまいりました。放送・映像制作に携わるプロフェッショナルのみならず、マーケティング、ライブエンターテインメント、クリエイティブテクノロジーなど、幅広い分野の技術者、クリエイター、ビジネスパーソンが一堂に会する場として、その価値を高めております。

本年のInter BEE 2025では、《コンテンツがつなぐ新たな創造と体験の未来》を実現すべく、コンテンツとテクノロジーの融合を体験できる多彩な展示や企画を通じて、メディアの未来を発信してまいります。放送技術や通信の進化とともに、Inter BEEもその歩みを止めることなく、これからも皆様と共に進化を続けてまいりたいと考えております。ご来場の皆様におかれましては、1,000社を超える出展者による展示や多彩なコンファレンスを存分にご覧いただき、今後のビジネスや新たな創造のヒントとしてお役立ていただければ幸いです。最後になりますが、Inter BEE 2025が皆様にとって、実りある交流と新たなビジネス機会を創出する場となり、メディア・エンターテインメント産業、そしてそこに関わる文化と社会がさらに発展していくことを心より祈念いたしまして、私の挨拶とさせていただきます。

一般社団法人電子情報技術産業協会
会長 漆間 啓



総務省 情報流行政局長 豊嶋 基暢 氏



経済産業省 商務・サービスグループ文化創造産業課長 梶直弘 氏



日本放送協会 メディア総局 副総局長 山崎 英一 氏

Reception Party



61回目の開催を祝したレセプションパーティー

昨年に引き続き、開催初日の夕刻にはレセプションパーティーが、幕張メッセ国際会議場コンベンションホールにて開催されました。会場には、出展企業をはじめ、関連団体、ユーザー、プレスなど、多くの業界関係者が来場し、終始華やかな雰囲気に包まれる中、活発な交流が繰り広げられました。また、「INTER BEE AWARD」の表彰式も同時に実施され、優れた技術や取り組みを顕彰することで、メディア・エンターテインメント業界における技術革新への貢献を示す場となりました。

「新たなアイデアやビジネス創出につながる出会い、交流の場」

InterBEEは本年で61回目の開催となります。実に長い歴史を刻んでまいりましたが、これも一重に、ご出展者の皆様、お力添えをいただいている関係省庁や各団体をはじめ、多くの皆様のご支援、ご協力のおかげでございます。この場をお借りして、改めて御礼申し上げます。

1965年に「国際放送機器展」としてスタートしたInter BEEは、半世紀を超える歴史において、音と映像、そして放送・通信という技術の発展と共に歩みを続けてまいりました。

近年では、放送の枠を超え、コンテンツをつくり、届け、体験する、あらゆる技術を包括する「メディア総合イベント」へと進化しています。本年のInter BEEは、《コンテンツがつなぐ新たな創造と体験の未来》をテーマに、AIを活用した最新技術・製品も数多く登場し、コンテンツとテクノロジーの融合を体験いただける多彩な展示や企画を通じて、メディアの未来を発信いたします。

おかげさまで、InterBEEは、放送・映像制作に携わるプロフェッショナルのみならず、マーケティング、ライブエンターテインメント、クリエイティブテクノロジーなど、幅広い分野の技術者、クリエイター、ビジネスパーソンが一堂に会する場と、評価いただけるまで成長してまいりました。

今後も、放送技術や通信の進化と同様に、Inter BEEもその歩みを止めることなく、皆様と共に進化を続けてまいりたいと考えております。

InterBEEが、本年も皆様にとって新たなアイデアやビジネス創出につながる出会い、交流の場となりますことを心より願っております。

今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げ、簡単ではございますが、私のご挨拶とさせて

一般社団法人電子情報技術産業協会
理事
執行 裕子

「幕張から感謝と Inter BEE のさらなる発展への祈念」

初日を終えまして、Inter BEE がさらに大きく力強いイベントに成長していること、そして皆様のご尽力で初日が素晴らしい幕開けとなったことを、まずは心よりお祝い申し上げます。私達は、Inter BEE の特別企画「INTER BEE IGNITION x DCEXPO」のDCEXPO、先端コンテンツ技術を担当しております。

また、今年はAIに着目しまして「AI IGNITES CREATION」というタイトルを掲げました。まさに、AIでクリエーションに火をつけろというタイトルでございます。この火をつけるということで、皆様にこの火花が次の時代の導火線をたどり、ますます皆様が携わるメディア産業、エンターテインメント産業、そしてビジネスがますます盛り上がるることを本日確信しました。

これからの広がる未来にもワクワクを隠せない気持ちであります。



一般財団法人デジタルコンテンツ協会
専務理事
浪越 徳子 氏



INTER BEE FORUM

11月19日(水)

KN-191 基調講演 国際会議室

Inter BEE 2025 Opening & Keynote

主催者あいさつ：一般社団法人電子情報技術産業協会 会長

オープニング基調講演1：放送政策の最新動向

総務省 情報流行政局長 豊嶋 基暢 氏

オープニング基調講演2：デジタル技術と日本のコンテンツ産業

経済産業省 商務・サービスグループ 文化創造産業課長 梶 直弘 氏

オープニング基調講演3：情報空間の参照点を目指して—NHK ONEと公共放送の新たな役割

日本放送協会 メディア局 副局長 山崎 英一 氏

KN-192 INTER BEE IGNITION×DCEXPO 基調講演① AI翻訳字幕サービス 国際会議室

ドジャーズはなぜ投資するのか？球団もテレビ局も“投資家”になる時代

パネリスト Elysian Park Ventures Managing Partner Jay Adya 氏 株式会社テレビ朝日 経営戦略局 オープンイノベーション担当部長 増澤 晃 氏

モデレーター

スクラムベンチャーズ 創業者兼ジェネラル・パートナー 宮田 拓弥 氏

KN-193 INTER BEE IGNITION×DCEXPO 基調講演② 国際会議室

テレビドラマに革命を起こすAI映像

パネリスト テンパレード株式会社 代表取締役 兼 AIクリエイター 宮城 明弘 氏 株式会社ytv メディアデザインプロデューサー 汐口 武史 氏

モデレーター

専修大学 文学部 ジャーナリズム学科 特任教授 ジャーナリスト 松本 淳 氏

SP-192 特別講演 [日英逐次通訳付] 201会議室

IABM 業界動向報告：メディアビジネスを成功に導く変革

ゲストスピーカー IABM ナレッジ&インサイト統括責任者 ク里斯・エバンス 氏 日本ラグビーフットボール協会 横田 杏那 氏

M2A Media VP, Commercial & Partnership Abi Hemingway 氏

SP-193 特別講演 201会議室

イマーシブ・サウンドの現状と今後の動向Part I

<< 映画・舞台・ライブステージ >>

パネリスト 株式会社メディア・インテグレーション 執行役員 シニア・テクノロジーオフィサー 前田 洋介 氏 株式会社角川大映スタジオ 営業部 ポストプロダクション技術課 課長 竹田 直樹 氏

有限会社ティースペック 代表取締役 石丸 耕一 氏 橋本 敏邦 氏

株式会社テレビ朝日 技術局設備センター 阿部 健彦 氏

モデレーター

SP-194 特別講演 201会議室

ローカルコンテンツが拓く、地域価値最大化戦略～テレビ発地域イノベーションの可能性～

パネリスト

放送サービス高度化推進協会 事業執行理事 安田 隆二 氏 北海道テレビ放送株式会社 社長室 阿久津 友紀 氏

株式会社毎日放送 経営戦略局 齊藤 浩史 氏 株式会社テレビ西日本 事業企画部 尾野上 敦 氏

株式会社テレビ宮崎 コンテンツビジネス局 大山 真一 氏

モデレーター

dentsu Japan グロースオフィサー（特任執行役員）/ メディアビジネスイノベーション担当 須賀 久彌 氏

11月20日(木)

KN-201 基調講演 国際会議室

IPTVフォーラム企画：放送とネット配信の両輪で創るテレビサービスの未来～アドレッサブルTVからフェイク対策まで～

IPTV Forum 開会の挨拶 特別講演：放送・配信関連政策の最新動向

パネリスト 総務省 情報流行政局 放送業務課 配信サービス事業室長 横澤田 悠 氏

パネルディスカッション

パネリスト 一般社団法人 IPTVフォーラム メディア技術開発部 兼 メディア企画室 飯塚 留美 氏 伊藤 正史 氏

一般社団法人 IPTVフォーラム ハイブリッドキャスト推進連合会 技術部門リーダー 西村 敏 氏 出葉 義治 氏

モデレーター

株式会社三澤総合研究所 モビリティ・通信政策本部 ICTインフラ戦略グループ 主任研究員 土橋 由実 氏 五藤 寛丈 氏

KN-202 音響部門基調講演 国際会議室

イマーシブ・サウンドの現状と今後の動向Part II ～パッケージ・放送/配信・教育現場～

パネリスト

株式会社ミキサーズラボ サウンド・プロデューサー / レコーディング・エンジニア 高田 英男 氏 日本放送協会 メディア技術局 コンテンツクリエイションセンター コンテンツサービス部(音響) 入江 健介 氏

株式会社WOWOW 技術センター コンテンツ技術ユニット エンジニア 戸田 宏 田 長江 和哉 氏

モデレーター

KN-203 INTER BEE MEDIA Biz 基調講演 国際会議室

メディアの「信頼」を考える

パネリスト

株式会社博報堂 メディア・環境研究所 山本 泰士 氏 慶應義塾大学 メディア・コミュニケーション 研究所教授 津田 正太郎 氏

東京大学 教授 林 香里 氏

モデレーター

日本テレビ放送網株式会社 報道局デジタルグループ リードコンテンツプロデューサー 三日月 優雄 氏

SP-201 INTER BEE CREATIVE 基調講演 201会議室

京都映画進化論～100年を振り返り、次の100年を考える

パネリスト

映画監督 横口 真嗣 氏 京都府助言役(参与) アート&テクノロジーウィング京都代表 山下 晃正 氏

東映株式会社 取締役 映像副本部長 京都撮影所長 小嶋 雄嗣 氏 松竹株式会社 顧問 株式会社松竹撮影所 代表取締役会長 大角 正 氏

進行

SP-202 特別講演 201会議室

国際的な競争力を生むイマーシブコンテンツの未来

パネリスト

株式会社CinemaLeap 取締役 / マーシップ・ジャーニー プロデューサー 侍場 勝利 氏 株式会社ドリル CCO ヴィジュアル・ストラジスト イマーシブ・ミュージアム ブランナー 西田 淳 氏

クリエイティブディレクター カラーライブ・システムズ株式会社 代表取締役 株式会社 NIGHT WAVE 代表取締役 (元) プロジェクション・マッピング 代表取締役 石多 未知行 氏 株式会社コンセント 課題課長 / VR映像作家 渡邉 勲 氏

モデレーター

東京国際工科専門職大学 デジタルエンタテインメント学科 MIRAI-LABO. 教授 イマーシブコンテンツ・ソサイエティ主宰 渡部 健司 氏

SP-203 特別講演 201会議室

広告主が動くテレビデータ：営業・PRが知るべき活用のリアル

パネリスト

REVISION株式会社 代表取締役社長 郡谷 康士 氏 株式会社スイッチメディア 代表取締役社長 高山 俊治 氏

ノバセル株式会社 マーケティングパートナー部 部長 真鍋 達哉 氏 株式会社BuySell Technologies 執行役員 マーケティング統括本部 本部長 田中 舜真 氏

モデレーター

日本電気株式会社 PBU メディア統括部 MEグループ シニアプロフェッショナル 深田 航志 氏

SP-204 特別講演 201会議室

災害時に“誰一人取り残さない”を目指して～放送メディアの挑戦～

パネリスト

信州大学 DX推進センター 特任教授 不破 泰 氏 中京テレビ放送株式会社 ビジネスプロデュース局 ビジネス開拓ループ 中村 鑑三 氏

山口放送株式会社 取締役/オフィス長 兼 技術局長 惠良 勝利 氏 東京メトロポリタン テレビジョン株式会社 地域防災DX事業室 服部 弘之 氏

モデレーター

北海道テレビ放送株式会社 技術局長 樹山 英則 氏 メディア研究者 (元NHK放送文化研究所) 村上 圭子 氏

11月21日(金)

KN-211 JEITA Global AI Cloud Pavilion 基調講演 国際会議室

クラウドが駆動するメディアDX：放送局の基盤構築から、生成AIが拓く未来まで

・現場が選ぶクラウド：フジ・ネクステラ・ラボ × Oracle Cloud Infrastructure の答え

株式会社フジ・ネクステラ・ラボ 放送ソリューション部 部長 福元 陸郎 氏

日本オラクル株式会社 クラウド事業統括エグゼクティブ・アーキテクト 廣瀬 一海 氏

・AIが変えるメディアの未来：創造力とテクノロジーの新境地

マイクロソフト Chief Director of Telco, Media & Gaming Worldwide, Dillen Alahendra 氏

・融合するエンターテインメント：生成AIとクラウドが実現する新たな視聴体験

株式会社AbemaTV Development Headquarters Content & Data Division/Principal Content Engineer 中澤 優一郎 氏

KN-212 INTER BEE DX×IP PAVILION 基調講演 国際会議室

「最初の一歩」の最適解 - グランドデザイン構想と現場の実践から学ぶ、放送局IP化のリアル

パネリスト

株式会社WOWOW 技術センター コンテンツ技術ユニット 高畑 陸 氏

株式会社南日本放送 報道制作局制作技術部副部長 皆内 圭介 氏

モデレーター

KN-213 INTER BEE CINEMA 基調講演 国際会議室

映画『侍タイムスリッパー』制作の舞台裏

パネリスト

映画監督 安田 淳一 氏

SP-211 特別講演 201会議室

AVC部会企画：動画配信サービスから見たテレビデバイスの現状と期待

パネリスト

株式会社U-NEXT マーケティング部 部長 前田 弘之 氏

モデレーター

SP-212 特別講演 201会議室

Amazon・Netflixの広告参入でAVOD新潮流を考える90分

パネリスト

日本テレビ放送網株式会社 営業戦略センター アドリーチマックス部 部長 武井 裕亮 氏

株式会社AbemaTV ビジネスディベロップメント部 プロダクト部門 総括 大久保 晶平 氏

モデレーター

SP-213 特別講演 201会議室

“放送技術の将来”を多様な視点で語りあおう！

パネリスト

東京大学大学院 情報理工学系研究科 特任研究員 川森 雅仁 氏

モデレーター

メディア研究者 (元NHK放送文化研究所) 村上 圭子 氏

出展者セミナー

▶会場:国際会議場1階「103」会議室・「104」会議室

ES1-193 世界で活躍するトップクリエイターが語る、オン・エア・グラフィックスの最前線
14:00▶15:30

ES2-193 万博における共同利用型リモートプロダクションを運用して得た知見と課題
14:00▶15:30

11月19日
(水)

NTTビジネスソリューションズ株式会社
パリューデザイン部 主査
平田 翔一 氏
関西テレビ放送株式会社
総合技術局 制作技術センター
担当部長(回線)
石田 武司 氏

Dot Connector Inc.
Founder
ケネス・ツァイ 氏

パナソニック コネクト株式会社
現場ソリューションカンパニー
映像メディアサービス部 マネージャー
田中 克哉 氏

NTTスマートコネクト株式会社
メディアビジネス部 マネージャー
尾井 秀朗 氏

読売テレビ放送株式会社
技術局チーフ・エキスパート
沖田 一剛 氏

日本放送協会
コンテンツセンター第3部
チーフエンジニア
荒木 喜一 氏

ES1-202 放送・広告のプロが知っておくべき音楽ライセンス～コンテンツ新時代の業務用音楽ライブラリー活用法～
12:00▶13:30

スピーカー
株式会社ナッシュスタジオ
営業部長
宮下 丈 氏

モデルレーティング
株式会社電通ミュージック・アンド・エンタテインメント
執行役員
竹内 一人 氏

中上 淳司 氏

11月20日
(木)

ES1-203 メディア企業のためのクラウド成功戦略
～生成AI時代に求められる、クリエイティブを加速させるクラウドインフラ設計と運用のベストプラクティス～
14:00▶15:30

メディアテクノロジー局未来技術革新事業部 テックリード
亀田 遼 氏

コンテンツ戦略局プラットフォームビジネス部 主事
松本 卓総 氏

株式会社IMAGICAエンタテインメントメディアサービス
技術部 シニアテクニカルディレクター
平野 翼 氏

株式会社毎日放送
総合技術局制作技術センター
木戸 勇太 氏

アマゾンウェブサービスジャパン合同会社
技術統括本部 ストラテジックインダストリー技術本部
メディアグループ シニアソリューションアーキテクト
小林 剛 氏

11月21日
(金)

ES1-212 放送メディアのサイバー・レジリエンス～IP化・クラウド化時代における「止めない放送」を実現するために
多様化する放送環境を守り抜くための次世代セキュリティの視点
12:00▶13:30

スピーカー
BCNEXXT Inc.
逐次通訳者
横山 和枝 氏

BCNEXXT JAPAN
グラハム シャープ 氏

1. インテリジェントでアダプティブなプレイアウト
11月21日
(金)

2. IIJクラウドサービス概要説明及び“Vipe”連携事例
スピーカー
株式会社インターネットイニシアティブ
技術統括部長
堂前 清隆 氏

3. “Vipe”製品サマリー、Q&A
スピーカー
BCNEXXT JAPAN
山本克己 氏

ES1-213 組織横断的技術推進で新たな地平へ：オブザーバビリティで実現するPLAY社の成長戦略
14:00▶15:30

スピーカー
PLAY CLOUD本部 技術推進室 技術推進グループ マネージャー
丸山 健一 氏

PLAY CLOUD本部 技術推進室 技術推進グループ テックリード
市川 賢 氏

New Relic株式会社
技術統括 コンサルティング部
ソリューションコンサルタント
世木 佑樹 氏

ES2-213 次世代統合ラジオマスター PoC結果報告と今後の計画について
14:00▶15:30

スピーカー
スカパーJSAT株式会社
メディアソリューション事業本部
メディアシステム部第1チーム長
前中 隆 氏

株式会社エフエム東京
取締役 管理本部 技術局長
川島 修 氏

オンライン出展者セミナー

▶会場:Inter BEE 公式Website(オンライン)

ES0-192 映像制作の未来を創る | Google Cloud GenMedia が拓く新時代
11:30▶12:30

11月19日
(水)

グーグル・クラウド・ジャパン合同会社
カスタマー エンジニア
段野 祐一郎 氏

ES0-193 AI エージェントが加速させる、メディア業界のイノベーション
13:00▶14:00

グーグル・クラウド・ジャパン合同会社
カスタマー エンジニア
水野 翔 氏

同時開催 民放技術報告会

JBA-191 11:00▶16:45 制作技術部門

座長:フジテレビジョン 真崎 晋哉 氏 幹事:フジテレビジョン 島川徹平 氏

IOWNAPを活用したリモートプロダクションの実証と展望
-第66回輝く!日本レコード大賞の取り組み- TBSテレビ 中村 全希 氏

報道用ループレック設備の開発
テレビ東京 太田 佳彦 氏

AIを用いた編集業務の効率化・番組クオリティの向上
関西テレビ放送 清水 慎恭 氏

汎用機器を活用したサブ収録システム
刷新の取り組み
関西テレビ放送 帆足 肇一郎 氏

全社ファイルベースシステム「MBSFLight」の構築
毎日放送 野畠 智樹 氏

「へり九州・四国(高知)モデル」における情報共有システムの開発
福岡放送 竹内 広樹 氏

報道ファイルベースシステムの更新
福岡放送 満留 大輔 氏

既存サービスを組合せた高速ファイル伝送システムの開発
札幌テレビ放送 向山 悠樹 氏

札幌テレビ放送ファイルベースシステム更新の概要
札幌テレビ放送 坂本 悠輔 氏

LiveMultiStudioを活用した新たな映像演出への取り組み
TBSテレビ 長谷川 雄祐 氏

多機能送り返しシステム「MRET」の開発
中京テレビ放送 前田 英人 氏

JBA-192 13:00▶15:05 ラジオ・音声部門

座長:エフエム東京 秋山 拓也 氏 幹事:エフエム東京 小田 秀朗 氏

FM802 AoIPを利用したラジオマスター更新
FM802 大倉 朋之 氏

フレッツ回線を利用したST2110-30長距離伝送実験の報告
文化放送 渕野 泰宏 氏

ハイレゾ/イマーシブオーディオ対応
新音声中継車の導入
WOWOW 藤原 里実 氏

ワイヤレスマイク送信者の受信状況可視化による業務支援
関西テレビ放送 安部 智博 氏

回線束ね装置を使った局外中継への取組
エフエム東京 大海 ひかり 氏

JBA-193 13:00▶16:45 CG・コンピュータビジョン部門

座長:TBSテレビ 八木 真一郎 氏 幹事: TBSテレビ 内田 慎 氏

3Dスキャンワークフローの簡易化とその活用
日本テレビ放送網 岸 楓馬 氏

放送局開発技術の外版ビジネス展開について
～AIソリューション「エイティ」～
テレビ朝日 加藤 大樹 氏

AIを用いた放送用ヒューマンキーヤーの開発
テレビ朝日 加藤 真 氏

「CDTVライブ!ライブ!」における3DCGアーティストの歌唱演出
TBSテレビ 八木 真一郎 氏

地方選向けCGシステム"SENSOKU"の開発
秋田朝日放送 大平塚 広大 氏

野球中継におけるデータ配信システム・スポーツビデオコーダー更新
朝日放送テレビ 岩本 好広 氏

次世代伝送回線を活用した新たなバーチャルプロダクション
演出による音楽番組での取り組み
テレビ東京 井原 梓 氏

六本木第2スタジオVPシステム改修
テレビ東京 山本 岳大 氏

JBA-141 13:30▶16:00 特別企画

放送システムIP化のリアルと本音
～もう悩まない!MoIP導入の必勝パターンを探る～

コーディネータ
パネリスト

テレビ東京 テック開発局システムイノベーション部長
杉原 貴治 氏

TBSテレビ メディアテクノロジー局ステーション統括部
宮崎 真一 氏

文化放送 総務局技術システム部長
上原 裕司 氏

日本テレビ放送網 技術統括局技術戦略部主任
川平 貴之 氏

テレビ朝日 技術局設備センター
近藤 佑輔 氏

フジテレビジョン テックアートデザイン局制作技術統括部チーフエンジニア
安藤 悠人 氏

朝日放送テレビ 技術局制作技術部
上田 俊太郎 氏

テレビ大阪 技術局技術担当副部長
山口 恒平 氏

NASCによる多チャンネル記録システム
崎村 龍介氏

権利情報管理・印税計算システム「ななほし」
静岡朝日テレビ 横田 達裕 氏

「ボワソン・プロッサム」リアルタイム生成AIを用いたお絵描きゲームの開発
TBSテレビ 高原 虎太郎 氏

リアルタイムモーションキャプチャ技術の番組活用
テレビ東京 谷川 滉樹氏

「見逃し配信」自動編集技術の自社開発
朝日放送テレビ 森島 健太氏

TVerリアルタイム配信 番組告知スレートジェネレーターの開発
テレビ東京 森岡 友貴氏

編集用文字起こしアプリ「もしもしじくん」の開発
朝日放送テレビ 横田 淳大氏

Web記事作成用の文字起こし精度を向上させるアプリの開発
テレビ朝日 中山 真吾氏

NASCによる多チャンネル記録システム
崎村 龍介氏

JBA-211 10:30▶16:20 送出部門

座長:テレビ朝日 石原 友和 氏 幹事:テレビ朝日 小池 幸宏 氏

アドリーチマックスプラットフォームを支えるシステム紹介
日本テレビ放送網 小窪 政史 氏

アドリーチマックスプラットフォームと連携した新CMバンクの実現
日本テレビ放送網 井筒 宗佑 氏

アドリーチマックスプラットフォームにおけるSSP接続と
リアルタイムオークションについて
日本テレビ放送網 鈴木 圭一 氏

アドリーチマックスプラットフォームによるCM直前差し替え
日本テレビ放送網 吉田 宗弘 氏

AI音声認識エンジンを用いたリアルタイム字幕制作システムの構築
テレビ東京 鶴岡 秀展 氏

ゲームエンジンを活用し、ソフト化でお求めやすい価格を目指す!
第2世代バーチャルマスター・オペレーターの製品開発
テレビ北海道 柴田 篤志 氏

リアルタイム字幕送出システムのクラウド化
読売テレビ放送 藤井 一也 氏

マスター AI統合監視システム「Multi-View Guardian」の開発
中京テレビ放送 岸村 崇史 氏

ローカル局の挑戦!「ちょうどいい」番組オンライン納品システム開発
札幌テレビ放送 星野 隆 氏

マスター AI自動監視システム「VMO AI-Plus」
テレビ北海道 高橋 康二 氏

テレ東オンライン納品システムの構築
テレビ東京 有馬 拓也 氏

JBA-212 11:20▶12:10 配信部門

座長:日本テレビ放送網 御崎 芳仁 氏 幹事:日本テレビ放送網 甲斐 創 氏

バーチャル春高バー ライブ配信
フジテレビジョン 鈴木 健司 氏

フジテレビONE/TWO/NEXT smart配信設備更新
フジテレビジョン 岡村 英 氏

JBA-213 13:00▶14:15 データ放送・放送通信連携・アクセシビリティ部門

座長:日本テレビ放送網 御崎 芳仁 氏 幹事:日本テレビ放送網 甲斐 創 氏

「オールスター感謝祭」における視聴者参加型スマホクイズ
「感謝祭Qs」の開発とOAでの実施について
TBSテレビ 五藤 寛丈 氏

新たなテレビCM体験を創出する
「リアルタイムアンケートCM」技術の実現
フジテレビジョン 舟越 美奈代 氏

現行放送でアドレッサブルTV広告を実現する放送ターゲット広告技術
(ISDB版TA)と偽動画広告対策技術の開発
フジテレビジョン 伊藤 正史 氏

JBA-214 13:00▶14:40 回線・伝送・送信部門

座長:テレビ東京 坂 豪造 氏 幹事:テレビ東京 菊地 裕介 氏

北海道民放共同送信リモコンシステムの構築
札幌テレビ放送 大竹 知幸 氏

リソースシェアシステム
テレビ北海道 高橋 康二 氏

フルIP回線センターシステムの構築について
朝日放送テレビ 上田 俊太郎 氏

WOWOW IP回線センターの構築
WOWOW 宮内 康宏 氏

INTER BEE EXPERIENCE

音響技術の進化は止まらない！感動を創り出す極上の音体験

国内最大・世界品質のSRスピーカーイベントとして、毎年多くの注目を集めているX-Speaker。新たなブランドも加わり13製品が競演しました。プロオーディオ部門の展示ホール2では人気のX-Headphone/X-Microphoneも実施。プロからアマチュアまで、多くの来場者が自由に試聴体験しました。

X-Speaker SRスピーカー体験デモ

出展者・ブランド／製品名

◆ポイントソース/スタンド・ラインアレイスピーカー

EAW	11/19 10:30～ 11/20 14:00～ EAW NT206L / SBX118F
CODA	11/19 11:10～ 11/20 14:40～ CODA AUDIO APS PRO / APS SUB
NEXO	11/19 11:50～ 11/20 15:20～ NEXO ALPHA+
K-ARRAY	11/19 12:30～ 11/20 16:00～ K-Array KY102 / KS31 / KS3PI
BOSE	11/19 14:00～ 11/20 16:40～ BOSE PROFESSIONAL Forum FC112+ShowMatch SMS118

◆小型ラインアレイスピーカー

TW AUDIO	11/19 14:40～ 11/21 10:30～ TW AUDIO ELLA6 / ELLA L18 / VERA S32
d&b audiotechnik	11/19 15:20～ 11/21 11:10～ d&b audiotechnik CCL8 / CCL12 / CCL-SUB

X-Headphone | X-Microphone ヘッドフォン／マイクロフォン試聴体験展示

出展者・ブランド

◆ヘッドフォン

2102	STAX 有限会社スタックス
2103	audio-technica 株式会社オーディオテクニカ
2104	qdc / ULTRASONE / Maestraudio 株式会社アユート
2105	Yamaha 株式会社ヤマハミュージックジャパン

▶会場：幕張メッセ イベントホール

◆中・大型ラインアレイスピーカー

JBL	11/19 16:40～ 11/21 12:30～ JBL PROFESSIONAL VTX A12 / VTX B28
MARTIN AUDIO	11/20 10:30～ 11/21 14:00～ Martin Audio WPL / SXH218
L-Acoustics	11/20 11:10～ 11/21 14:40～ L-ACOUSTICS L2 / L2D / KS28
ADAMSON	11/20 11:50～ 11/21 15:20～ ADAMSON VGt / VGs
TT+AUDIO(RCF)	11/20 12:30～ 11/21 16:00～ TT+AUDIO(RCF) GTX10 / GTS29

11/19 16:00～ | 11/21 11:50～ **Alcons Audio** LR15/90, LR15/120, LR15B

機材協力：ヒビノ株式会社、イースペック株式会社

▶会場：展示ホール3

INTER BEE DX × IP PAVILION

企業間の垣根を超えた「連携」で MoIP(Mediaover IP)とソフトウェア化 による「コンテンツ制作のDX」を提案

■ 参画企業・団体

アストロデザイン(株)
アマゾン ウェブ サービス ジャパン合同会社
(株)アンバーサイン
エイチ・シー・ネットワークス(株)
ATENジャパン(株)
NEC
(株)NHKテクノロジーズ
NTTドコモビジネス(株)
Zabbix Japan LLC
ジャパンマテリアル(株)
スカパー JSAT(株)
セイコーソリューションズ(株)
ソニービズネットワークス(株)
ソニーマーケティング(株)
タスカム / ティック(株)
タレスDISジャパン(株)
デジキヤス合同会社
輝日(株)
(株)東芝

(株)東陽テクニカ
NAXA(株)
パナソニック コネクト(株)
原田産業(株)
ビデオトロン(株)
平河ヒューテック(株)
華為技術日本(株)
フォーティネットジャパン合同会社
(株)フォトロン
(株)芙蓉ビデオエイジエンサー
(株)朋栄
(株)マクニカ
丸文(株)
(株)ヤマハミュージックジャパン
(株)ユニゾンシステムズ
(株)ラムダシステムズ
リーダー電子(株)
(株)レスター

▶会場：展示ホール3

◆アドバイザー

NECプラットフォームズ(株) (ARIB)
国立天文台
日本テレビ放送網(株) (ARIB)

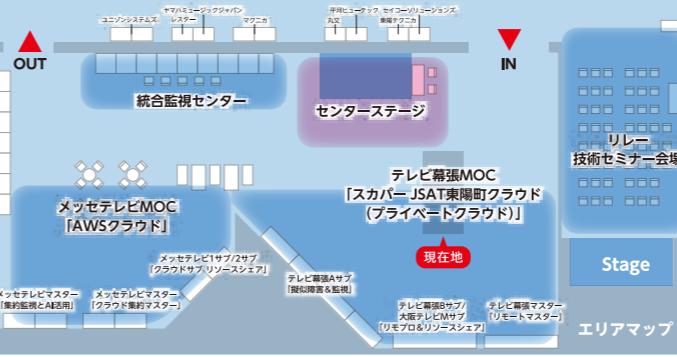
日本放送協会
(株) フジテレビジョン(ARIB)

◆企画・協力

(株)毎日放送
関西テレビ放送(株)
読売テレビ放送(株)
テレビ大阪(株)
(株)理経
(株)精工技研
The POS inc.

(株)イグアス
ミハル通信(株)
東京エレクトロンデバイス(株)
パンドウイットコーポレーション
エイム電子(株)
(株)アット東京
ヒロテック(株)

エリアマップ



■ 基調講演

▶会場：国際会議場 2F 国際会議室

11月21日(金)

KN-212 12:30▶14:00

「最初の一歩」の最適解 - グランドデザイン構想と 現場の実践から学ぶ、放送局IP化のリアル

パネリスト

株式会社WOWOW 技術センター
コンテンツ技術 ユニット
高畠 陸氏

株式会社南日本放送
報道制作局制作技術部副部長
皆内 圭介氏

池上通信機株式会社
放送システム技術部
齊藤 力弥 氏

ネットワンシステムズ株式会社 東日本3事業本部
エンタープライズ事業戦略部 ブリセールスチーム エキスパート
榎戸 真哉 氏

株式会社WOWOW 技術センター
設備プロダクトユニット エンジニア
齊藤 徹氏

株式会社南日本放送
報道制作局制作技術部
皆内 圭介氏

池上通信機株式会社
放送システム技術部
齊藤 力弥 氏

ネットワンシステムズ株式会社 東日本3事業本部
エンタープライズ事業戦略部 ブリセールスチーム エキスパート
榎戸 真哉 氏

モデレーター

エンタープライズ事業戦略部 ブリセールスチーム エキスパート
榎戸 真哉 氏

展示ホール3 INTER BEE DX x IP PAVILIONオープンステージ

11月19日(水)

10:30▶10:50	[INTER BEE DX x IP PAVILION]今年の見どころ
11:00▶11:20	ソニーマーケティング株式会社 ARIBにおけるMoIP標準化に関する取り組み状況
11:30▶11:50	一般社団法人電波産業会 (ARIB) [INTER BEE DX x IP PAVILION]ネットワーク概要
13:00▶13:20	エイチ・シー・ネットワークス株式会社 [INTER BEE DX x IP PAVILION]IP Pavilionを支える時刻同期技術：PTP概要からGNSS構成のポイントまで
13:30▶14:20	丸文株式会社 (深掘るシリーズ)ハイブリット時代のインフラを深掘る—オンプレクラウドが共存する時代のアーキテクチャ設計と実証から見えた知見—関西テレビ放送株式会社、テレビ大阪株式会社、日本放送協会、株式会社毎日放送、読売テレビ放送株式会社
14:30▶14:50	Zabbix Japan LLC、株式会社東陽テクニカ [INTER BEE DX x IP PAVILION]IP Pavilionを支える統合監視・ストリーム監視
15:00▶15:20	NTTドコモビジネス株式会社、タレスDISジャパン株式会社、フォーティネットジャパン合同会社、丸文株式会社 [INTER BEE DX x IP PAVILION]セキュリティをやってみた第二弾！
15:30▶15:50	AMWA NMOS IS-10(セキュリティ)
16:00▶16:50	日本放送協会 [MoIP導入局による気づきを対談で深める]互いのIPマスター導入とベンダーについて語る

11月20日(木)

10:30▶10:50	[INTER BEE DX x IP PAVILION]今年の見どころ
11:00▶11:50	華為技術日本株式会社 (深掘るシリーズ)映像制作をつなぐIP回線のチカラ—クラウドと放送現場を結ぶ通信基盤の新しい役割—NTTドコモビジネス株式会社、ソニービズネットワークス株式会社、輝日株式会社、日本放送協会
13:00▶13:20	ソニーマーケティング株式会社 [INTER BEE DX x IP PAVILION]今年の企画概要:見どころを分かりやすく解説
13:30▶13:50	スカパーJSAT株式会社 [INTER BEE DX x IP PAVILION]企画・Private Cloud概要
14:00▶14:20	スカパーJSAT株式会社 [INTER BEE DX x IP PAVILION]企画・クラウドサブとクラウド集約マスター&AIを活用した集約監視 デモ概要
14:30▶14:50	一般社団法人電波産業会 (ARIB) ARIBにおけるMoIP標準化に関する取り組み状況
15:00▶15:20	デジキヤス合同会社 [INTER BEE DX x IP PAVILION]企画・Private Cloud・擬似障害＆監視 デモ概要
15:30▶15:50	パナソニックコネクト株式会社 [INTER BEE DX x IP PAVILION]企画・Private Cloud・リモプロ＆リソースシェアデモ概要
16:00▶16:50	株式会社熊本放送、信越放送株式会社、Zabbix Japan LLC [MoIP導入局による気づきを対談で深める]ローカル局のIP化について～互いのMoIP制作サブ導入とベンダーについて語る～

11月21日(金)

10:30▶10:50	Zabbix Japan LLC ラジオ局のMoIP取組み:フレッツでつなぐ低コストAoIP伝送の検証
11:00▶11:20	株式会社文化放送 1万人の第9EXPO2025～万博会場での大規模イベント中継におけるIOWNを活用したST-2110-20/30リモートプロダクション～
11:30▶11:50	株式会社毎日放送 [INTER BEE DX x IP PAVILION]初参加企業より、未来の放送DXを築く多角的ソリューションを紹介します
13:00▶13:20	アラクサネットワークス株式会社、Zabbix Japan LLC、スカパーJSAT株式会社 タレスDISジャパン株式会社、輝日株式会社、NAXA株式会社、株式会社ユニゾンシステムズ (深掘るシリーズ)ハイブリット時代のインフラを深掘る—オンプレとクラウドが共存する時代のアーキテクチャ

INTER BEE IGNITION × DCEXPO

放送局 × スタートアップ共創が拓くメディアの未来～コンテンツ・AI・ビジネスの次章へ～

■ 基調講演

KN-192 13:00▶14:00

ドジャースはなぜ投資するのか？球団もテレビ局も“投資家”になる時代

パネリスト

Elysian Park Ventures Managing Partner
Jay Adya 氏

株式会社テレビ朝日 経営戦略局 投資戦略部
オープンイノベーション担当部長
増澤 晃 氏

モレーター
スクランベンチャーズ 創業者兼ジェネラル・パートナー
宮田 拓弥 氏

11月19日
(水)

KN-193 14:30▶15:30

テレビドラマに革命を起こすAI映像

パネリスト

テンパレード株式会社 代表取締役 兼 AIクリエイター
宮城 明弘 氏

株式会社ytvメディアデザイン プロデューサー
汐口 武史 氏

モレーター
専修大学 文学部 ジャーナリズム学科 特任教授
ジャーナリスト
松本 淳 氏

■ 企画セッション

11月19日(水)

IG-191 10:30▶12:00

先進映像協会 ルミエール・ジャパン・アワード 表彰式2025

良質な3D、4K、8K、VR作品へ贈られるルミエール・ジャパン・アワードと、当該分野の発展への寄与が期待される取り組みへ贈られるグッドプラクティス・アワードの、今年度の受賞者を表彰・公表しました。

IG-192 12:30▶13:30 DCEXPO企画

広告制作のプロが考えるAI映像の未来・ AIプロンプトディレクターの仕事とは？

STUDIO D.O.G GK 代表
AI Filmmaker, NFFT AI x Fashion, Movie Event Founder
木之村 美穂 氏

株式会社TYO Chief Producer
馬詰 正 氏

IG-193 14:10▶15:55 出展者プレゼン

Vライバーが聞く・伝える！ 最先端コンテンツ技術のいま:Part1

参加企業

(株)ツーハンズメタ

東海テレビ放送(株)

合同会社inore / (株)槌屋

(株)SAFEHOUSE / MPLUSPLUS(株)

(株)SHOSABI / (株)ワイルドマン

IPconnect(株) / (株)レッドクリフ

東京大学 稲見・門内研究室「MoHeat」

慶應義塾大学 Embodied Media Project

慶應義塾大学理工学部・大阪大学基礎工学研究科

津田塾大学 学芸学部 情報科学科 栗原研究室

京都産業大学 平井研究室・産総研

東京大学 稲見・門内研究室「Handoid」

モデルター

イチナナVライバー
清 滉 銘 氏

イチナナVライバー
スラ たん 氏

IG-194 16:10▶17:10 DCEXPO企画

AI映画の今と未来 —『グランマレビト』に見る創作の進化と、 日本初AI国際映画祭が拓く新潮流—

パネリスト

ガウマビクス株式会社
一般社団法人AI日本国際映画祭
(AIFJ2025) 代表理事
山口 ヒロキ 氏

池田 裕行 氏

モデルター

ガウマビクス株式会社
プロダクションマネージャー
寺嶋 千景 氏

▶会場：国際会議場2F 国際会議室

INTER BEE MEDIA Biz

メディアの境界がなくなり、ビジネスが加速する。

■ 基調講演

KN-203 14:45▶16:15

メディアの「信頼」を考える

モレーター

日本テレビ放送網株式会社
報道局デジタルグループ リードコンテンツプロデューサー
三日月 優樹 氏

パネリスト
株式会社 博報堂
メディア環境研究所
山本 泰士 氏

慶應義塾大学 メディア・
コミュニケーション研究所教授
津田 正太郎 氏

東京大学 教授
林 香里 氏

■ 企画セッション

11月19日(水)

MB-191 11:00▶12:00

DAZNジャバントップに聞く、 推し活スポーツ配信

モレーター

コンテンツビジネス・ジャーナリスト
長谷川 朋子 氏

メディアコンサルタント
境 治 氏

パネリスト
DAZN Japan CEO
Hulu ディングス株式会社
事業開発室 室長
香川 翔兵 氏

株式会社 フジテレビジョン
コンテンツ戦略本部
コンテンツ事業局 プラットフォーム事業
センター室長
野村 和生 氏

MB-192 12:30▶14:00

一周まわってテレビ ～コンテンツ価値創造の現在地と未来～

モレーター

メディアビジョンラボ
代表
奥 律哉 氏

パネリスト
青山学院大学
総合文化政策学部 教授
内山 隆 氏

パネリスト
関西テレビ放送株式会社
コンテンツビジネス局 担当局長
竹内 伸幸 氏

株式会社ビデオリサーチ
ビジネスデザインユニット
新規ビジネス開拓グループ シニアプロデューサー
松岡 逸美 氏

MB-193 14:30▶16:00

世界に通じる最強IPプロデュース力 ～連動 縦型ショート動画 次の“勝ち筋”はどこだ？～

モレーター

コンテンツビジネス・ジャーナリスト
長谷川 朋子 氏

株式会社 日経BP
アニメ映画ビジネス局 アニメ事業部
須藤 孝太郎 氏

パネリスト
株式会社 emole
代表取締役
澤村 直道 氏

パネリスト
株式会社creation
代表取締役
米永 圭佑 氏

MB-194 16:30▶17:30

人・お金・ノウハウに乏しいローカル局が、 急激に進むデータ利活用にどう食らいつくか？

モレーター

日本放送協会 コンテンツ制作局 第3制作センター(ドラマ)
チーフ・プロデューサー・ドラマ10編集長
渡邊 恒 氏

パネリスト
株式会社 Tutti Create
代表取締役
土屋 勝裕 氏

パネリスト
株式会社 TOKYO ROCK STUDIO
代表取締役
田島 健 氏

パネリスト
株式会社 TVQ九州放送
コンテンツ戦略局 コンテンツ戦略部
永江 幸司 氏

MB-195 15:40▶16:40 DCEXPO企画

—創賞・匠賞 受賞式 記念トークセッション— ◆第一部 創賞授賞式+トーク

モレーター

アーティスト
東京大学名譽教授
河口 洋一郎 氏

パネリスト
株式会社 TOKYO ROCK STUDIO
代表取締役
田島 健 氏

パネリスト
北海道文化放送株式会社
放送システム部 DX推進センター
杉本 歩基 氏

パネリスト
株式会社 radiko
代表取締役
池田 卓生 氏

MB-196 17:45▶19:00

After Hours 緊急企画！ショート動画プレゼンリレー&交流会

年々市場規模が拡大を続ける「ショート動画」。2日目に『縦型ショート動画 次の“勝ち筋”はどこだ？』の企画セッションを開催。この流れを受け、ショート動画に関わる方々やクリエイター、これから挑戦する皆様の交流を目的にプレゼンリレー&交流会を実施しました。

INTER BEE CREATIVE

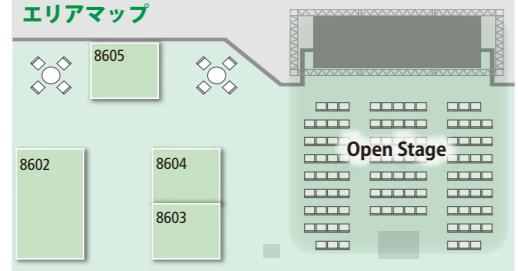
次世代の映像制作技術を体感、体験した3日間

■ 出展者

▶会場：展示ホール8

8602 (株)クープ
8603 (株)インショーツ
8604 一般社団法人日本ポストプロダクション協会
8605 (株)IVS41

エリアマップ



■ 企画セッション

▶会場：展示ホール8 INTER BEE CREATIVEオープンステージ

11月19日(水)
CR-191 10:30▶11:30

UNREALで切り拓く映像イノベーション
～TBSが取り組む映像制作最前線

株式会社TBSアクト(TBSテレビ)
デジタルクリエイティブ本部
青木 勝貴 氏

株式会社TBSアクト(TBSテレビ)
スタジオ本部スタジオ制作部
高谷 知宏 氏

CR-192 11:45▶12:45

100年後の火星が教えてくれたこと
～SF映像表現のための、
プロダクション・リデザイナー

日本放送協会
メディア技術局
伊藤 崇仁 氏

日本放送協会
メディア技術局
高松 幸弘 氏

CR-193 13:00▶13:45

イカゲーム3のプロモーションを支える
ヴォリュメトリックビデオの効果的な使い方

株式会社ニコンクリエイツ
アドバイザー
武田 佳典 氏

VFXアーチスト
きむらえいじゅん 氏

CR-194 14:00▶14:45

劇場とストリーミングサービスに広がる次世代
AIコンテンツリパッケージング：
AI Super-ScalerソリューションによるSDから
4Kへのアップスケーリングとプレミアム映像復元

株式会社インショーツ
ソリューション・コンテンツ事業
ファン・ジンヨン 氏

株式会社インショーツ
イ・ゴンちゃん 氏

CR-195 15:00▶15:45

MXL:EBU DMFグループが規格化する
メディア交換レイヤー
～ライブ映像をセンター間で相互運用

グラスバレー株式会社
ソフトウェアアーキテクチャ、バイスプレジデント
ヴァインセント・トラザール 氏

CR-196 16:00▶17:30 日英逐次通訳付き

When AI Meets VFX:The Future
of Visual Storytelling

NVIDIA
Jason Schugardt 氏

■ 基調講演

▶会場：国際会議場2F 201会議室

11月20日(木)

SP-201 10:30▶12:00

京都映画進化論～100年を振り返り、次の100年を考える

パネリスト
映画監督 樋口 真嗣 氏
京都府助言役(参与) 山下 晃正 氏
ART&TECHNOLOGY・VILLAGE京都村長 結城 崇史 氏
進行 東映株式会社 取締役 映像副本部長 小嶋 雄嗣 氏
松竹株式会社 顧問 大角 正 氏

■ 企画セッション

▶会場：展示ホール8 INTER BEE CREATIVEオープンステージ

11月19日(水)
CR-191 10:30▶11:30

UNREALで切り拓く映像イノベーション
～TBSが取り組む映像制作最前線

株式会社TBSアクト(TBSテレビ)
デジタルクリエイティブ本部
青木 勝貴 氏

株式会社TBSアクト(TBSテレビ)
スタジオ本部スタジオ制作部
高谷 知宏 氏

CR-192 11:45▶12:45

100年後の火星が教えてくれたこと
～SF映像表現のための、
プロダクション・リデザイナー

日本放送協会
メディア技術局
伊藤 崇仁 氏

日本放送協会
メディア技術局
高松 幸弘 氏

CR-193 13:00▶13:45

イカゲーム3のプロモーションを支える
ヴォリュメトリックビデオの効果的な使い方

株式会社ニコンクリエイツ
アドバイザー
武田 佳典 氏

VFXアーチスト
きむらえいじゅん 氏

CR-194 14:00▶14:45

劇場とストリーミングサービスに広がる次世代
AIコンテンツリパッケージング：
AI Super-ScalerソリューションによるSDから
4Kへのアップスケーリングとプレミアム映像復元

株式会社インショーツ
ソリューション・コンテンツ事業
ファン・ジンヨン 氏

株式会社インショーツ
イ・ゴンちゃん 氏

CR-195 15:00▶15:45

MXL:EBU DMFグループが規格化する
メディア交換レイヤー
～ライブ映像をセンター間で相互運用

グラスバレー株式会社
ソフトウェアアーキテクチャ、バイスプレジデント
ヴァインセント・トラザール 氏

CR-196 16:00▶17:30 日英逐次通訳付き

When AI Meets VFX:The Future
of Visual Storytelling

NVIDIA
Jason Schugardt 氏

INTER BEE CINEMA

プロフェッショナルが集い、次世代を切り拓く映画制作コミュニティ。

映画に特化したコミュニティとして、制作プロフェッショナルが集い最新の動向や技術を発信。

スクリーン拡大や視聴スタイルの多様化により進化を続ける映画市場において、

演出・撮影・照明・録音・編集など制作技術とコンテンツ体験をリードする場を展開しました。

▶協力：日本映画撮影監督協会(JSC)、日本映画・テレビ照明協会(JSL)

■ プロダクト展示エリア

▶会場：展示ホール8

8607 合同会社トワイエイゾ
8608 (株)焦点工房
8609 NiSi
8610 富士フイルム(株)
8611 APPOTRONICS International Ltd.

8612 (株)アイ・ディー・エクス
8613 協同組合 日本映画撮影監督協会
8614 三友(株)
8615 一般社団法人日本映画制作適正化機構

■ エクスペリエンスエリア

▶会場：展示ホール8

シネマカメラにレンズを装着してのルックテストが可能な、「Cinema Lens Bar」を展開しました。

7Artisans Canon FUJINON TOKINA CINEMA
Atlas Lens Sigma LAOWA Viltrox

▶シネマカメラ機材協力：Blackmagic、Canon、FUJIFILM、Nikon、RED、SONY

▶機材協力：(株)アイ・ディー・エクス、KIPON、銀一(株)、(株)三和映材社、EIZO(株)、(株)RAID

■ 企画セッション

▶会場：展示ホール8 INTER BEE CINEMAトークステージ

11月19日(水)

CI-191 10:30▶11:15

シネマレンズトレンドウォッチ2025

モデルレーター 合同会社ARGA
代表 太田黒 哲 氏
映像ライター 林 永子 氏

CI-193 12:00▶12:45

ワンストッププロダクションにおける 撮影部の仕事と役割

モデルレーター 株式会社マリモレコーズ
撮影監督 金戸 聰和 氏
映像プロデューサー・ジャーナリスト 石川 幸宏 氏

CI-194 13:00▶13:15

モーションフィルムの現在地。 パート1:フィルムカメラ タッチ&トライ/構造解説とデジタルシネマ比較

モデルレーター 錦田 淳一 氏
映像プロデューサー・撮影監督 TFCPlus
クリエイティブセンター長 田中英夫 氏
映画カメラマン 御木 茂則 氏

CI-195 13:30▶14:15

「映画監督作品年表」一 監督という職業の時間を見つめて

モデルレーター 「映画監督作品年表」編者 川井 拓也 氏
映像ライター 林 永子 氏

CI-197 15:00▶15:15

モーションフィルムの現在地。 パート2:フィルム&デジタルカメラ パネルディスカッション

モデルレーター 日本映画撮影監督協会(JSC)
撮影監督 上野 彰吾 氏
日本映画撮影監督協会(JSC) 映画カメラマン 御木 茂則 氏

CI-198 16:00▶16:30

富士フイルム(株)

モデルレーター 小林 亮太 氏
日本映画撮影監督協会(JSC)
撮影監督 会田 正裕 氏

CI-206 15:45▶16:00

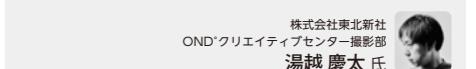
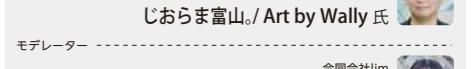
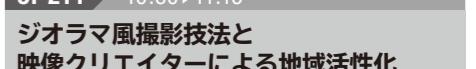
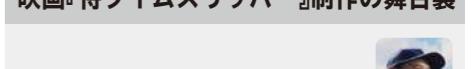
三友(株)

モデルレーター 日本映画撮影監督協会
撮影監督 大浦 俊将 氏

CI-207 16:15▶17:00

カメラ開発者視点から見る 「フィルムライク」考察

モデルレーター 映像技術コンサルタント 石井 芳季 氏
映像機器評論家 小寺 信良 氏



プロオーディオ部門	3218 ヒビノスペーステック(株) 3219 ヒビノライティング(株) 2408 FENDER MUSIC CORPORATION JAPAN PRESONUS 3106(株)フォービット 3201 ウェーブプラス合同会社 2404 フォステクスカンパニー 2412 Fulcrum Acoustic Japan(株) 2209 ベスティックオーディオ(株) 2301 ポーズ プロフェッショナル 3122 星野楽器販売(株) 3113 BOYA 2506(有)ボルトアンペア 3105 マス工房 2617 MASCOT ELECTRIC CO., LTD. 2305 松田通商(株) 8407 エーティコミニケーションズ(株) 5307(株)エーディテクノ 3404 SET(ブラジルテレビ技術協会) 2610 Media Integration / ROCK ON PRO 2611 Media Integration / ROCK ON PRO 2302(株)メディアプラス 2003(株)モアソングループ 2206 モガミ電線(株) 3102 ヤマキ電気(株) 2307 ヤマハサウンドシステム(株) 2307(株)ヤマハミュージックジャパン 2520(株)ユーズドネット 2415 読売テレビ放送(株) 3140 LYLY 2616 ラディウス(株) 3121 リワイア(株) 3119 ルミネックスジャパン(株) 2402 Lake People Audio GmbH 2201(株)ワタナベ楽器店	7204 インフィレッド・ジャパン(株) 8409 ヴィデンダムプロダクションソリューションズ(株) 5112(株)ギリッジアイランド 3201 ウェーブプラス合同会社 8314 ウェザーワイズ(株) 4507 WELL BUYING INDUSTRIAL CO., LTD. 4610 映像嵐(株) 7101 EIZO(株) 5303 営電(株) 4301 ATEN ジャパン(株) 5102 エイム電子(株) 5105(株)エースシー 8214 AJA Video Systems, Inc 4607 エーティコミニケーションズ(株) 5301 ジャパンマテリアル(株) 4612(株)焦点工房 5406(株)昭特製作所 5304 エスエス電子(株) 4509 SDI(株) 8109 NEC 4003 エヌ・イー・ピー(株) 8502 NHK/JEITA 7412(株)NHK テクノロジーズ 8501(株)NHK テクノロジーズ 3415 NAB Show 7519(株)NKL 7308 NTT イノベティーブデバイス(株) 7305 NTT ビジネスソリューションズ(株) 4604 FHC(株) 8410 MRMC 4406(株)M&Inext 8320(株)エムジー 3502 M2A Media 8405 Elyas 3212 LED TOKYO(株) 4410 エル・エス・アイ ジャパン(株) 2102 STAX 2105(株)ヤマハミュージックジャパン	7203 撮影機材販売 HORIZON 8404(株)サムウェイ 8401 Samsung SSD 8108 三信電気(株) 5107(株)三和映材社 5506 サンワサプライ(株) 5107(株)三和プロライト 5401 ZHIYUN 3502 JEITA Global AI Cloud Pavilion 5002 Shenzhen Zitay Tech. Co. Ltd 5211 SHENZHEN PORTKEYS ELECTRONIC TECHNOLOGY CO., LTD 7208(株)シグマ 7513(株)シナジー 5301 ジャパンマテリアル(株) 4612(株)焦点工房 5406(株)昭特製作所 4605 ショーテックス日本(株) 8319(株)Synk 6209 SWIT 5513 合同会社ズーバーズズ 7311 スターコミュニケーションズ(株) 4203 有限責任事業組合スタジオインフィニティ 3306 Studio-J Consulting(株) 4409(株)スバイス 5402 SmallRig Technology (HK) Limited 8406(株)スリー・エム 5401 スリック(株) 4506(株)精工技研 3305 セイコーソリューションズ(株) 3403 摂津金属工業(株) 4404 Semtech Corporation 4213 ゼンハイザージャパン(株) 4517 ソニー(株) 4310 ソニービズネットワークス(株) 4310 ソニーマーケティング(株) 8318 ダイナコムウェア(株) 5302 ダイヤテックス(株) 4518 Taiwan Electrical and Electronic Manufacturers' Association 4403 タツタ電線(株) 4514(株)タムロン 7102 CHIEF/ 映像センター 3409 CHINA SOCIETY OF MOTION PICTURE AND TELEVISION ENGINEERS 7512 ZHANGHOU SEETEC OPTOELECTRONICS TECHNOLOGY CO., LTD. 4407 Zhongshan Cayer Photographic Equipments CO.,Ltd. 7201(株)DVC 3502 TVU Networks 7311 TVU Networks 4213 Disguise Japan 合同会社 5501 カナレ電気(株) 7205 カペラ(株) 3401 川崎重工業(株) 3407(株)ガンスイ 8404(株)アスク 3203 アスコット(株) 4516 アストロデザイン(株) 6212(株)アセント 3409 アドバンスデジタルビデオ(Beijing)テクノロジー(株) 3211(株)アドバンス・ブルーム 3402(株)アプロット 3502 Amagi 3502 アマゾン ウェブ サービス ジャパン合同会社
------------------	---	---	---



映像制作/放送関連機材部門

メディア・ソリューション部門



エンターテインメント/ライティング部門

映像制作/放送関連機材部門

Hall 6

Hall 5

Hall 4

ネットギアジャパン/
クレステン・エレクトロニクス/
Datapath Japan/ベガプロジェクト/
ピューソニックジャパン/VPS/
テックウインド/リンクディー・ジャパン/
イトーキ/Disguise Japan/
Audinate/オーディオブレインズ/
ゼンハイザージャパン

Panasonic
CONNECT

Ikegami

Canon

FUJIFILM

SONY

株式会社イノベーター・ワン
Innovator One Co.,Ltd

エンターテインメント/ライティング部門



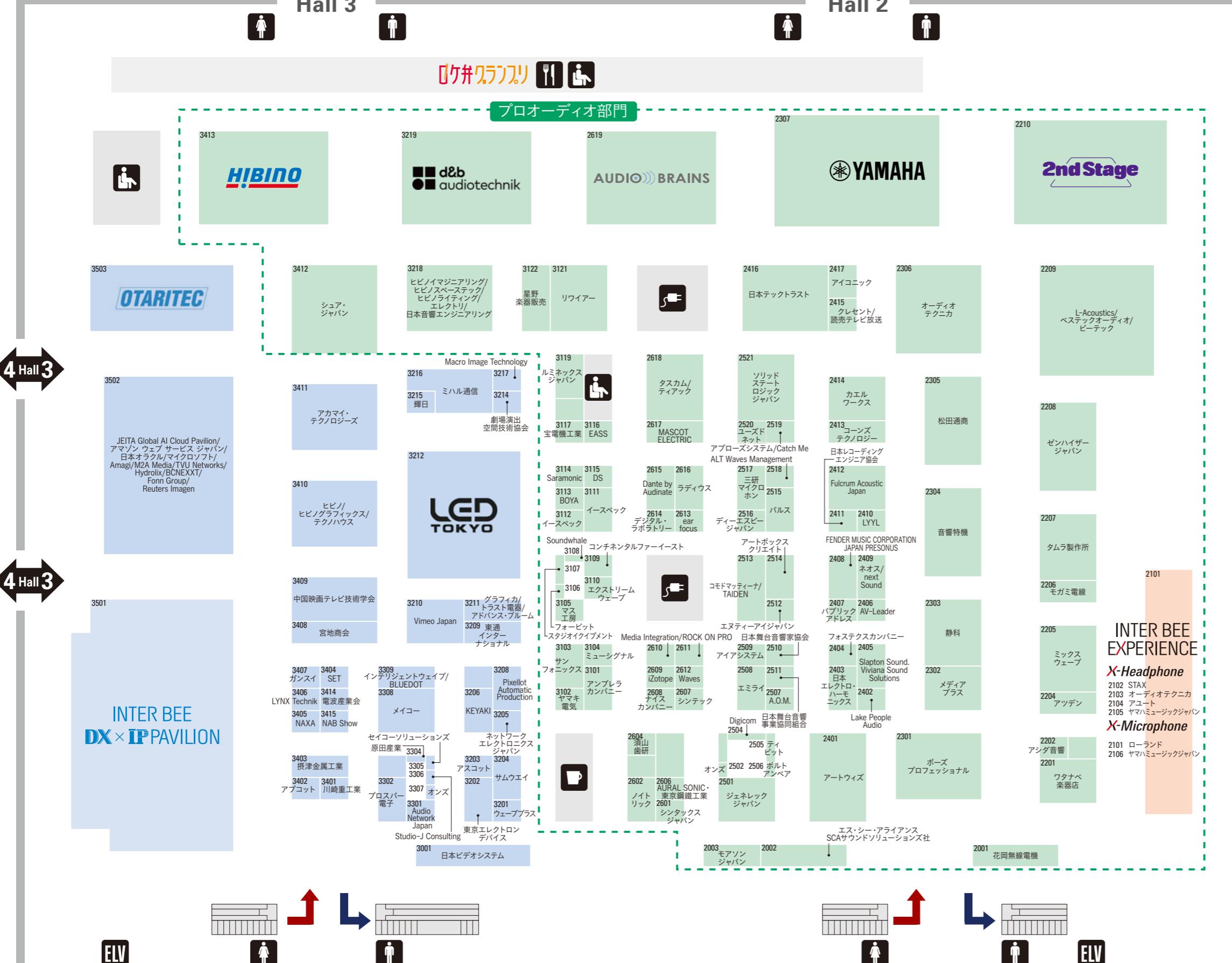
映像制作/放送関連機材部門

プロオーディオ部門

Hall 3

Hall 2

事務局



Result: Publication and Promotion

■ 広報活動(プレスリリース配信実績)

*出展募集開始告知リリース(3/3)
*来場事前登録開始リリース(10/1)
*開幕告知リリース(11/18)
*『INTER BEE AWARD』部門賞告知リリース(11/20)
*幕張メッセ期間終了リリース(11/21)

■ Inter BEE 2025 関連記事掲載WEB NEWS (一部) ※順不同

ASCII.jp	niftyニュース
AV Watch	Oricon News
CAMERA fan	PANORA VIRTUAL REALITY JAPAN
Devcafe	PHILE WEB
INTERNET Watch	PR TIMES
IT media NEWS	新Screens
MICE TIMES ONLINE	PRONEWS
mixiニュース	Stereo Sound ONLINE
	THE MAP TIMES

■ プレス登録者数

213名(うち海外プレス6名)

■ Inter BEE 2025 関連記事掲載紙誌 (一部) ※順不同

B-maga	ビデオ通信
PRONEWS	映像新聞
TVTechnology	月刊 ネット販売
イベントマーケティング	月刊「フルデジタル・イノベーション」(FDI)

■ 広告掲載※WEBバナー含む

電波技術協会・協会報FORN	TV Technology
月刊イベントマーケティング	Branc
新Screens	VIDEO SALON
PRONEWS	ビデオ通信
Vook	Yahoo!ニュース
Aperza	電線新聞
	映像新聞
	電波新聞
	電波タイムズ
	特定非営利法人(NPO)日本ビデオコミュニケーション協会

■ Inter BEE 2025 放映実績

放送日	局	番組名
11月14日(金)	BayFM78	AWAKE
11月19日(水)	テレビ朝日	大下容子のワイド!スクランブル
	ABEMA-TV	ABEMA News
	千葉テレビ	newsチバ 21:30



■ Inter BEE Official Mail Magazine

経年的に蓄積している来場者データベースに向けて最新情報を配信。

2025年1月～12月:

※2025年12月4日現在

◆配信回数

44回

◆1回の配信総数

111,606件



■ Inter BEE 公式 Website

◆サイト訪問数 (2025年3月～12月):

809,326セッション

Inter BEEの出展者情報やプレスリリースをオンライン上で発信。関連イベントや業界の話題性の高い情報を、年間を通じてお届けしています。

Online Magazine 記事掲載数: **86**件



■ 公式 X

◆フォロワー数:

5,793名

(前年比**110.4%**)

◆投稿数:

293名

◆ポストインプレッション:

8,441,343件

(2025年1月～12月)



■ 公式Instagram

◆フォロワー数:

2,647名

(前年比**123.2%**)

◆投稿数:

174件



■ 公式Facebook

◆フォロワー数:

6,226名

(前年比**103.1%**)

◆投稿数:

190件

◆年間閲覧数:

約 2,900,000件



■ 公式Youtube

◆登録者数:

約 2110名

(前年比**123.2%**)

◆再生数:

448,908回

(2025年1月～2025年12月)



■ メディアパートナー

関連業界紙誌にはメディアパートナーとしてInter BEEをサポートいただき、多くの出展者の記事を掲載いただいている。

% apérza	TVTechnology	Branc	AV Watch	映像新聞	EVENT MARKETING	PHILE WEB
ビデオSALON	CAMERA fan	Shuffle	PICTURES	放送技術	OPTCOM	電線新聞
サテマガBi	Stereo Sound ONLINE	HiVi	PROSOUND	通信興業新聞社	HOTSHOT	電波新聞
電波タイムズ	FILM DIGITAL TIMES	Stage Sound Journal	新Screens	PRONEWS	UNIPRESS SERVICE	FDI

Result: Visitor Profile

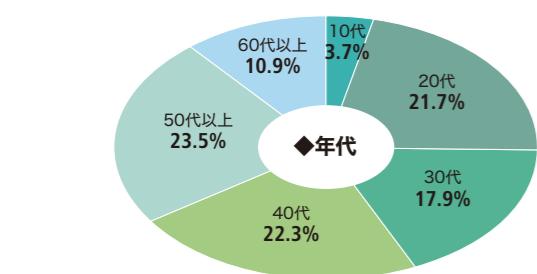
■日別登録来場者数

	11/19(水)	11/20(木)	11/21(金)	合計
国内登録来場者数	11,704	11,083	10,250	33,037
海外登録来場者数	556	303	176	1,035
合 計	12,260	11,386	10,426	34,072

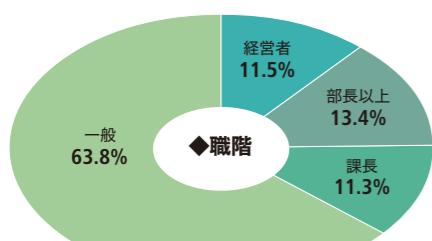
登録来場者数：34,072名



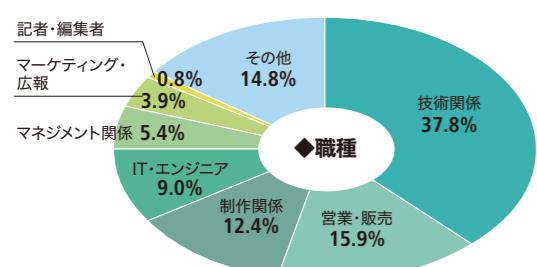
■来場者の属性



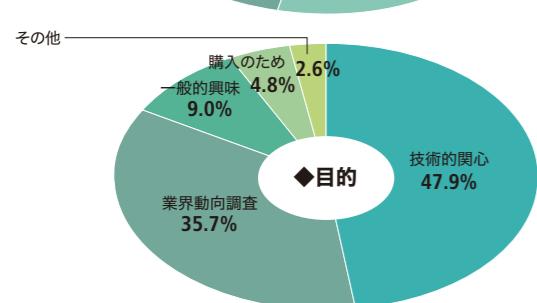
◆年代



◆職階



◆目的

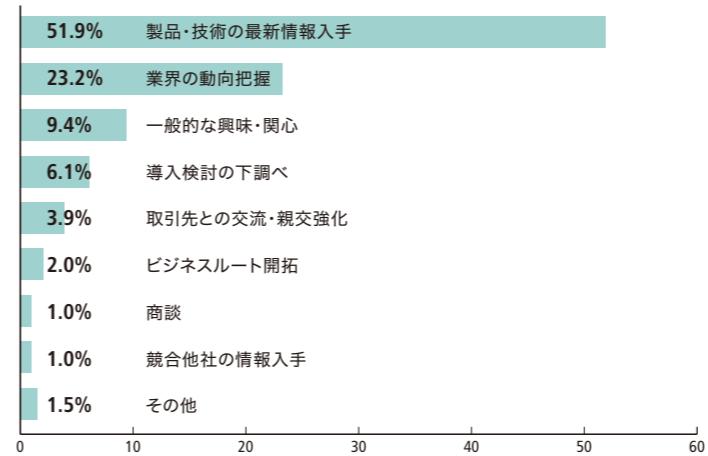


■来場登録者数の内訳

エリア	国・地域/来場者数	国・地域別の来場者数
日本国内	1カ国/33,037名	日本 33,037
アジア地域	14カ国・地域/808名	韓国 372/中国 147/台湾 136 シンガポール 33/香港 28/マレーシア 27 タイ 17/インドネシア 12/インド 10 フィリピン 10/ベトナム 10/スリランカ 3 モンゴル 2/ミャンマー 1
北中南米地域	9カ国・地域/75名	アメリカ合衆国 49/カナダ 13/メキシコ 4 アルゼンチン 2/ブラジル 2/ペルー 2 ジャマイカ 1/パナマ 1/他 1
大洋州地域	2カ国・地域/10名	オーストラリア 8/ニュージーランド 2
中近東・アフリカ地域	3カ国・地域/7名	アラブ首長国連邦 4/チュニジア 2 イスラエル 1
ヨーロッパ地域	18カ国・地域/67名	イギリス 19/ドイツ 9/フランス 6 オランダ 5/デンマーク 5/ロシア 5 イタリア 4/スペイン 3/ポーランド 3 オーストリア 1/ギリシャ 1/スウェーデン 1 チェコ 1/ノルウェー 1/ハンガリー 1 ベルギー 1/ポルトガル 1
不明		68
合計	47カ国・地域	34,072名

■来場者アンケート

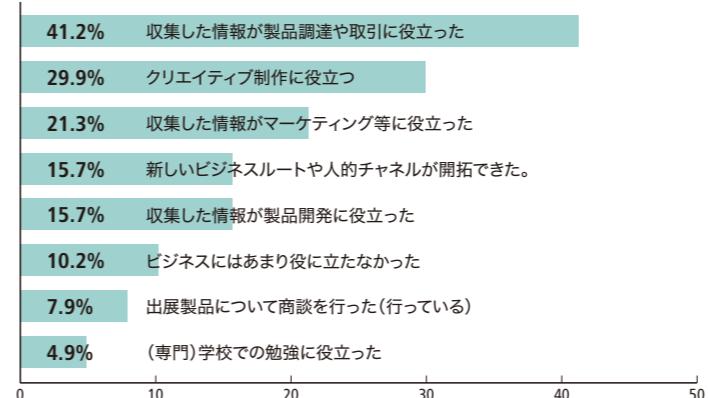
◆Inter BEE 2025にご来場された目的を教えてください。



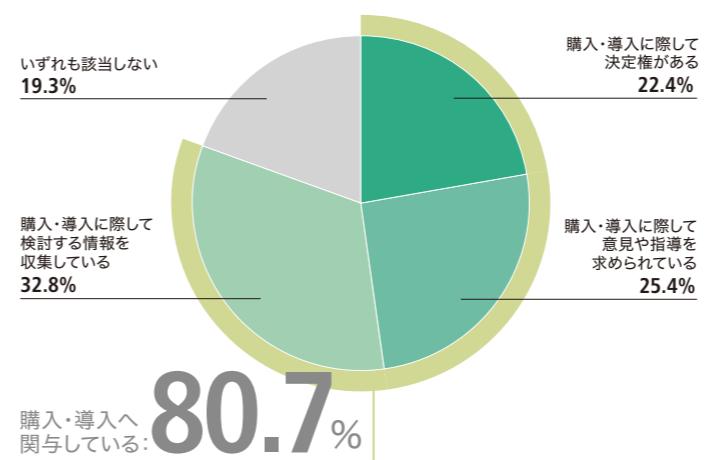
◆Inter BEE 2025で過ごされた時間をお教えてください。 2日以上ご来場の場合は、一番長く過ごされた時間でお知らせください。(ひとつだけ)



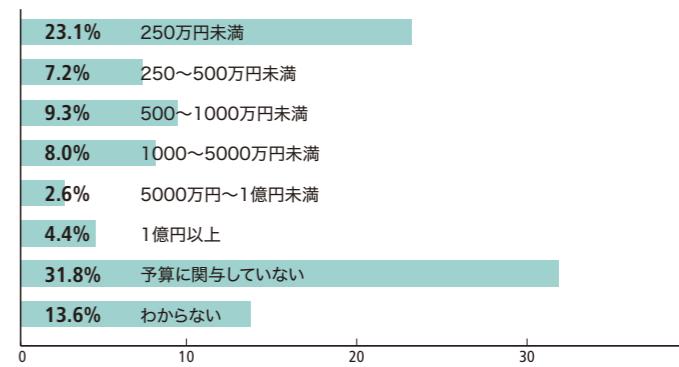
◆あなたは、Inter BEE 2025を見学して、その後ビジネスに役立ちましたか。【複数回答】



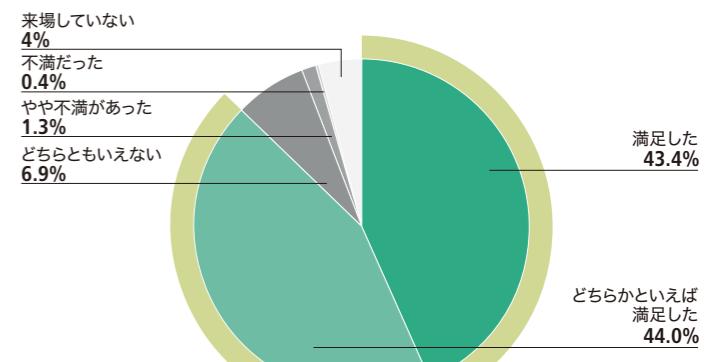
◆御社での製品・サービスの購入・導入にあたって、あなたはどの程度関与されていますか。



◆あなたが関与する製品・サービスの購入・導入に対する予算は、おおよそ年間いくらくらいですか。



◆今回のご来場の目的はどの程度満足されましたか。



満足傾向: 87.4%

◆『Inter BEE 2026』にご来場いただけますか。(ひとつだけ)



次回来場予定: 92.0%



Result: Exhibitor Profile

■出展者数

展示部門	出展者数	小間数
プロオーディオ	279	383
エンターテインメント/ライティング	132	195
映像制作/放送関連機材	573	1,294
メディア・ソリューション	95	113
合計	1,079	1,985

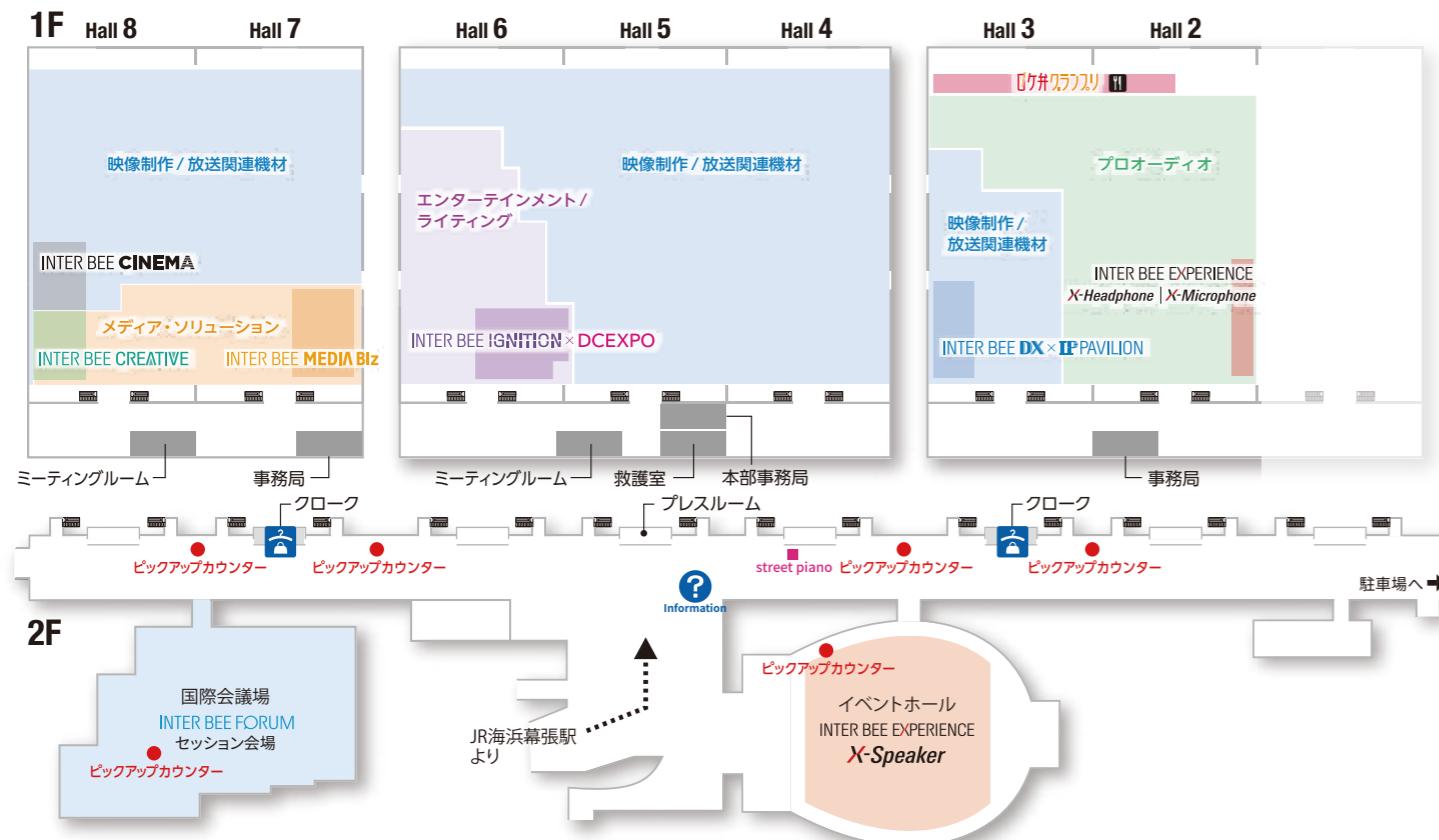
■登録出展者数の内訳

エリア	国・地域数/出展者数	国・地域別の出展者数
日本国内	1カ国/513社	日本 513
アジア地域	9カ国・地域/200社	中国 129/台湾 31/韓国 30/香港 3/シンガポール 3 タイ 1/インドネシア 1/インド 1/ベトナム 1
北中南米地域	4カ国・地域/150社	アメリカ 133/カナダ 14/コスタリカ 2/ブラジル 1
大洋州・中東・アフリカ	3カ国・地域/19社	オーストラリア 9/イスラエル 8 ニュージーランド 2
ヨーロッパ地域	27カ国・地域/197社	ドイツ 47/イギリス 41/オランダ 14/フランス 13 イタリア 13/スウェーデン 10/ベルギー 9/スペイン 8 ルクセンブルク 6/スイス 6/デンマーク 5/オランダ 4 オーストリア 3/ポーランド 3/フィンランド 2/ポルトガル 2 ウクライナ 1/ブルガリア 1/クロアチア 1/チコ 1 ハンガリー 1/アイルランド 1/リヒテンシュタイン 1 ルーマニア 1/スロバキア 1/トルコ 1/ロシア 1
	44カ国・地域	1,079社/団体

出展者数: 1,079 社

出展国・地域数: 44 カ国・地域

■会場構成



次回開催のご案内

Broadmedia & Entertainment Inter BEE 2026

11.18 水 » 20 金 幕張メッセ

多様な産業と専門領域が交差し
メディアとエンターテインメントの新たな価値を生み出す
メディア総合イベント

